



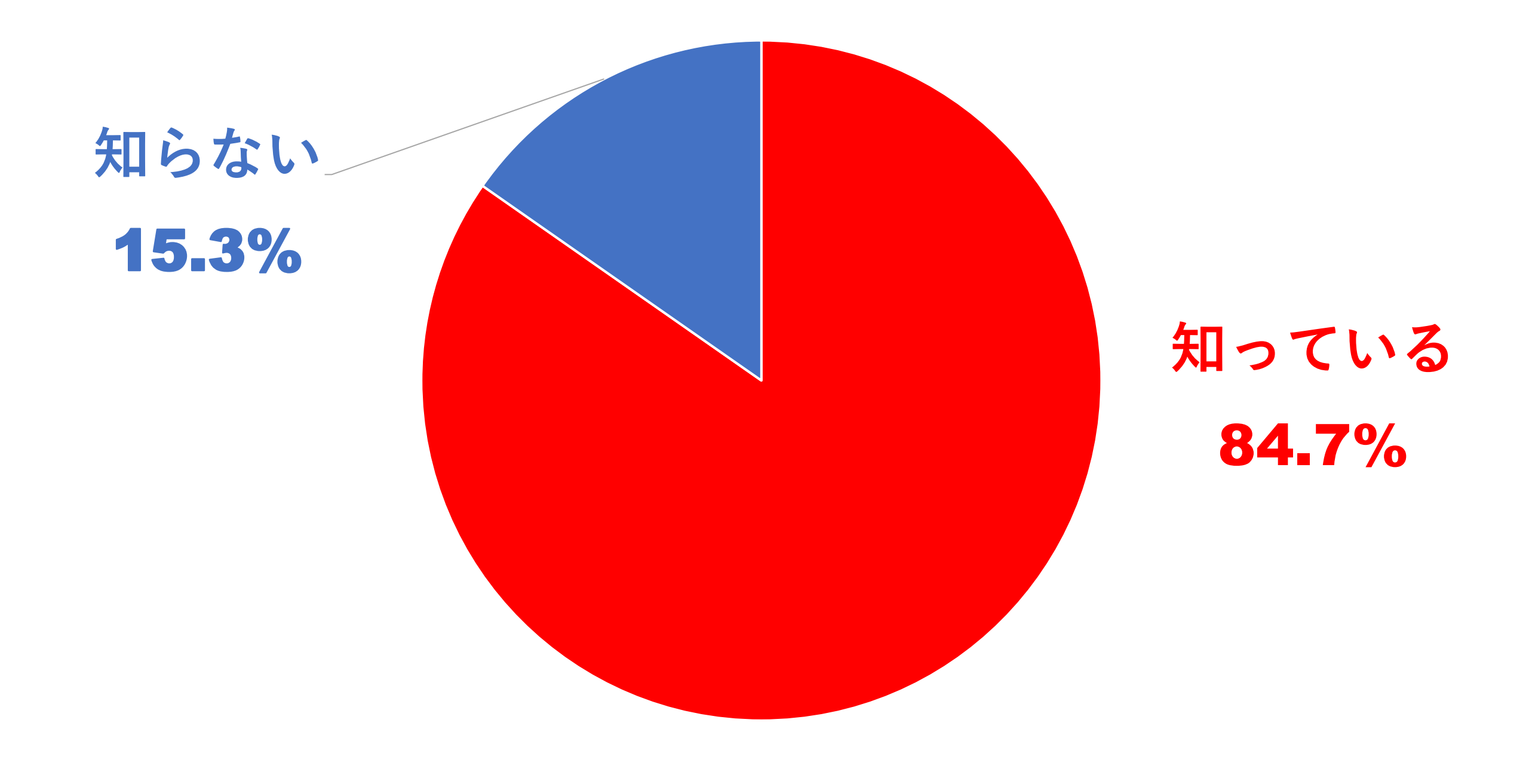
新NISAに関する調査結果

【実施期間】

2024年3月

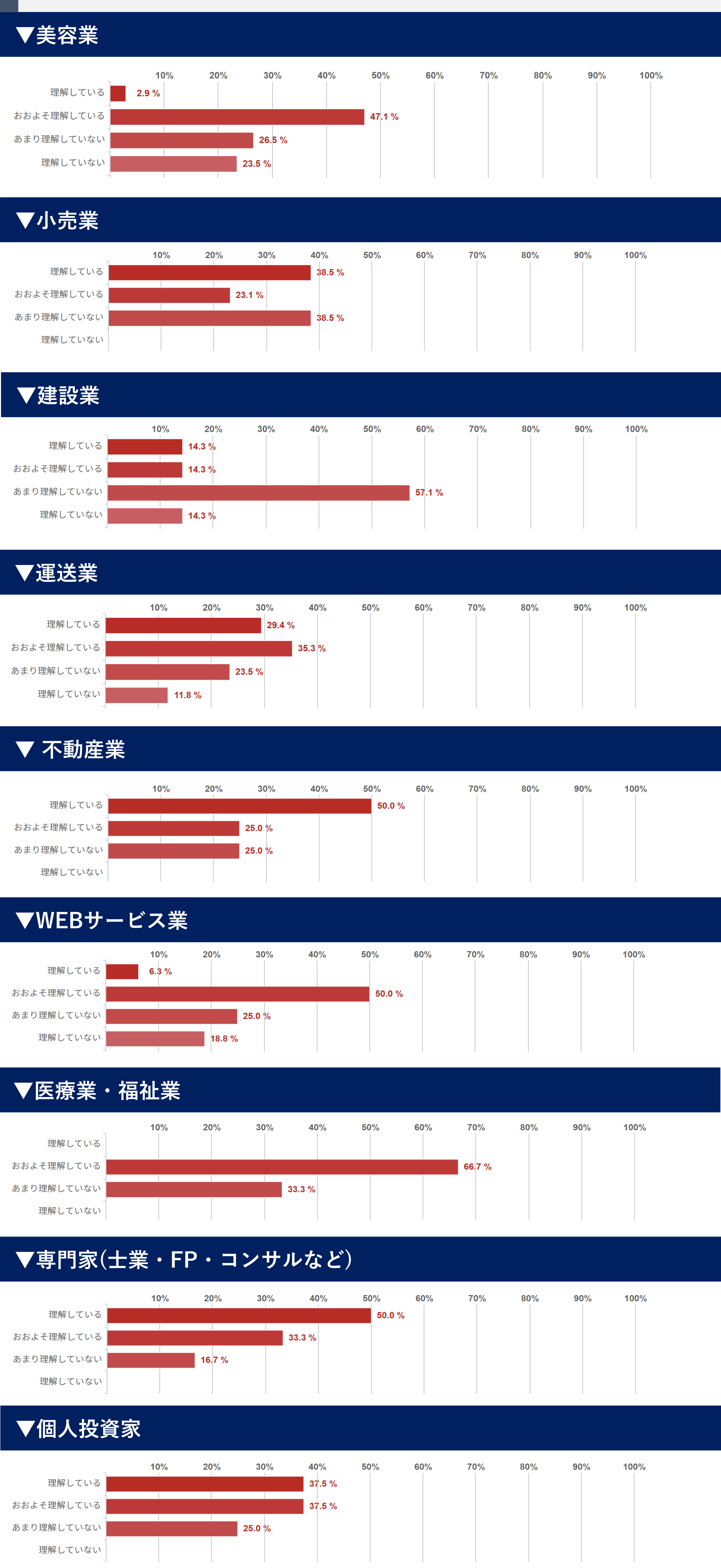
新NISAへの変更について

－2024年からNISAの制度改定が行われ、新NISAとなったことは知っていますか？

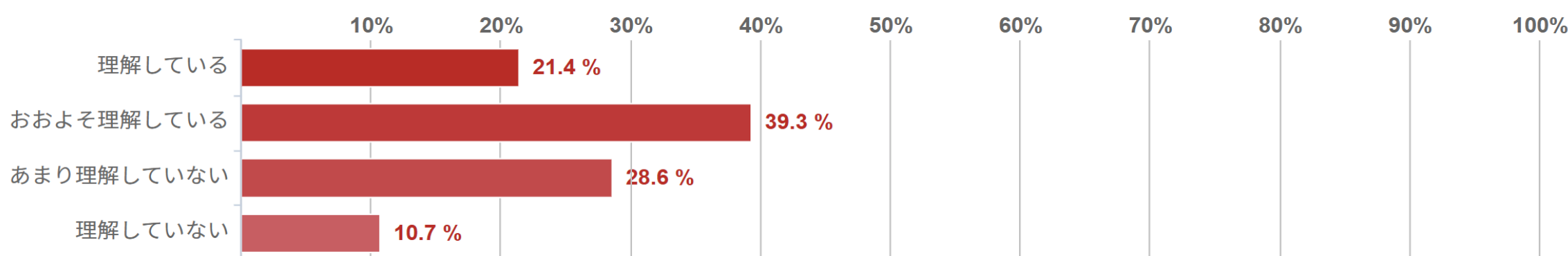


新NISAへの変更内容に対する理解

－旧NISAから新NISAへの変更内容を理解していますか？

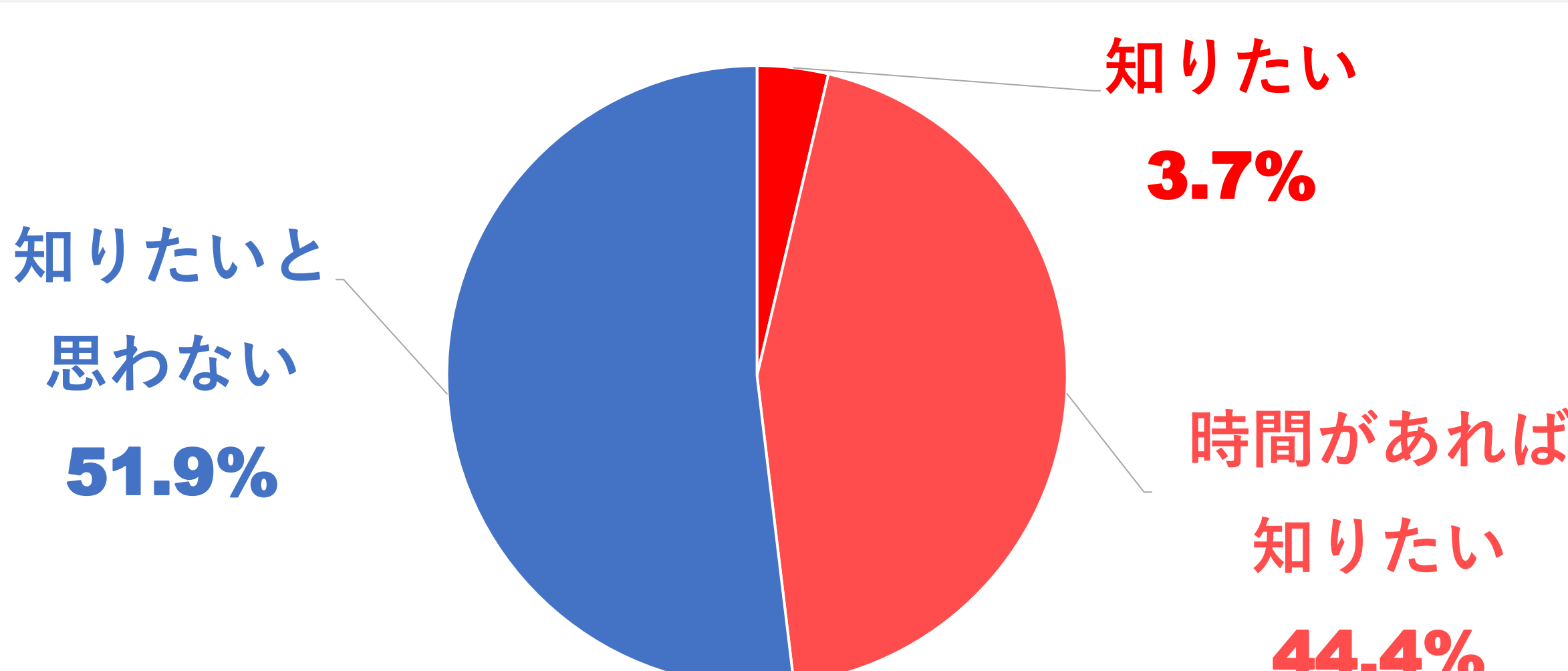


▼その他



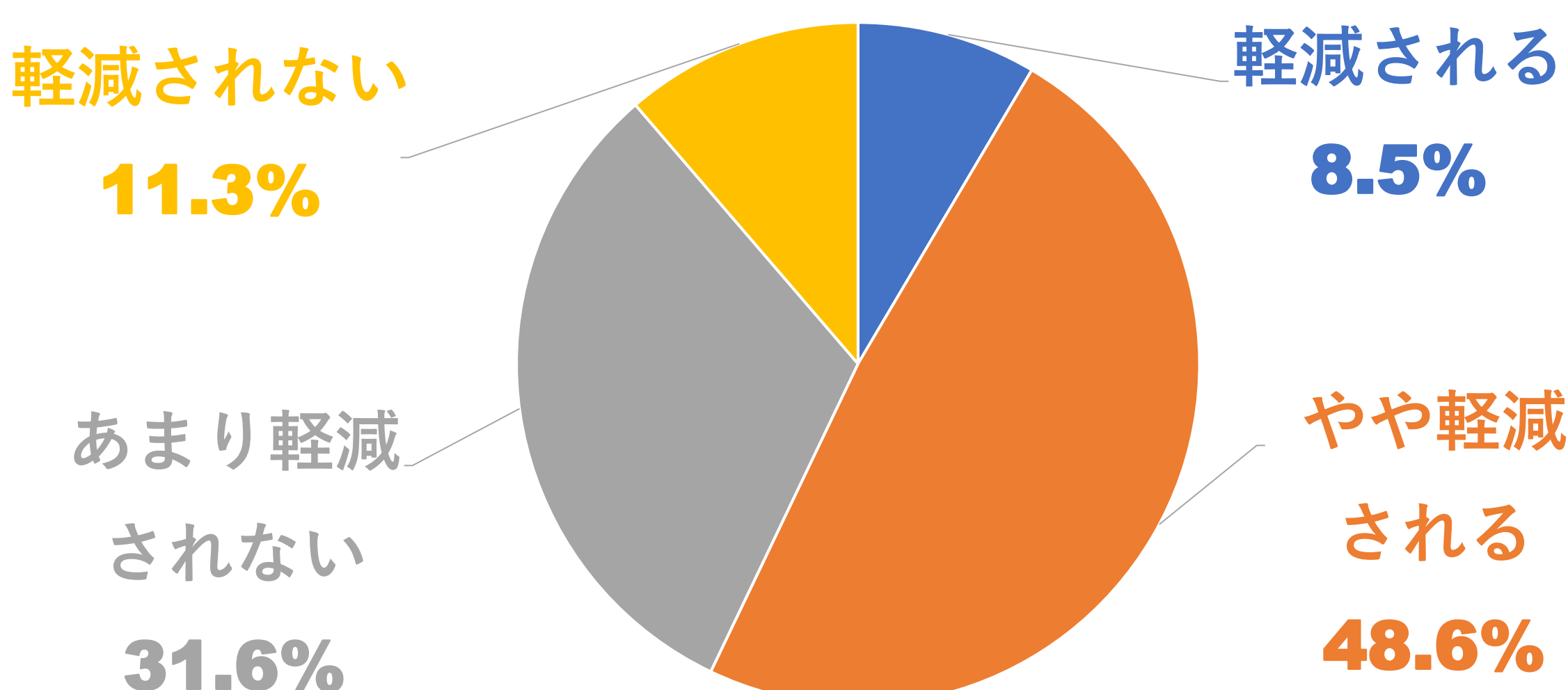
新NISAの変更内容への興味

－新NISAについて知りたいと思いますか？



新NISAによる老後資金の不安軽減

－新NISAを利用することで、老後資金の不安が軽減されると思いますか？



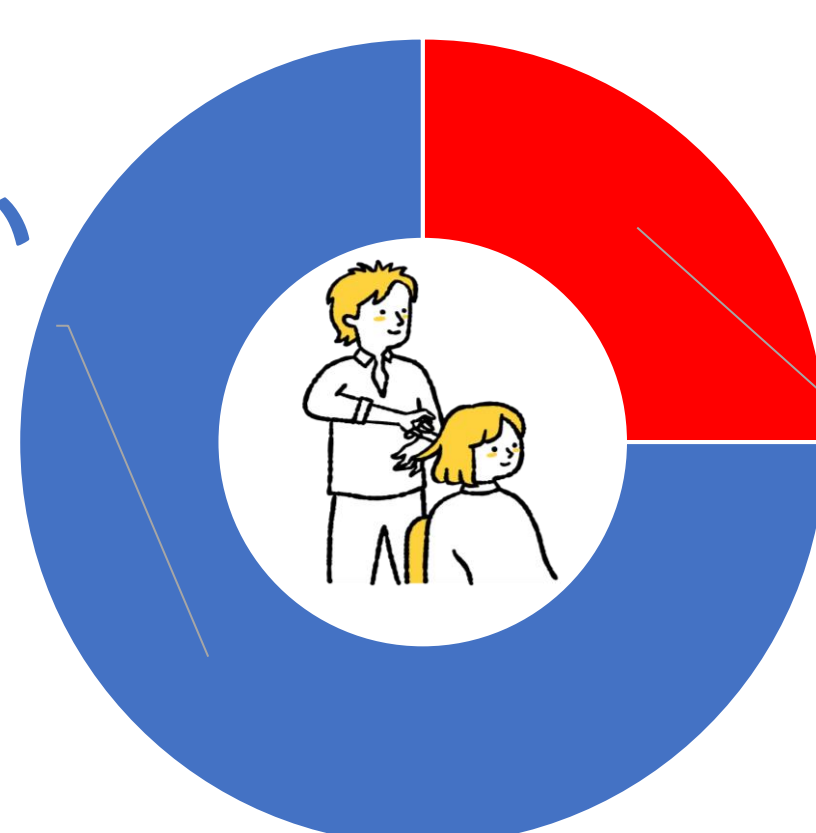
新NISAの利用状況・理由

－2024年1月から始まった新NISAを利用していますか？

－利用している利用していない理由を教えてください

美容業

利用していない
75.0%



利用している
25.0%

利用している

- 老後資金の為に旧NISAから継続して利用している
- いままでも利用していたので、そのまま移行
- 将来の資金のために少しでもと思い始めた
- 投資というものに興味があって手軽に始められる
- 銀行に入れていてあまり金利もつかない
- 少し新ニーサ枠で、個別株を少々購入した
- お金を運用することで資産を増やしていける
- 老後のためと子供の学費の資金を増やすため
- 老後など考えて、興味があったため
- 将来の年金だけでは不安なので、老後資金の積み立てとして非課税になる仕組みなので

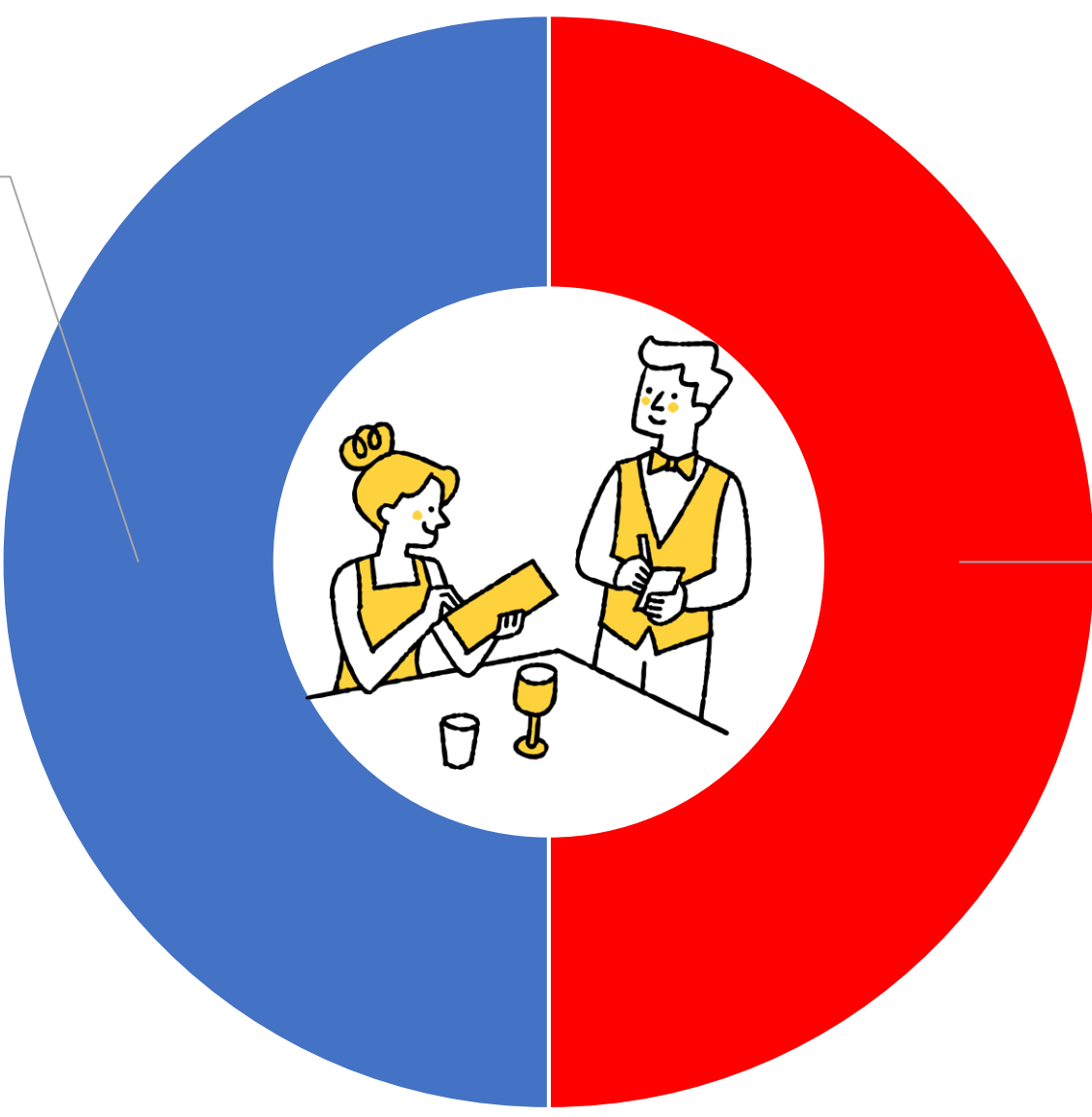
利用していない

- 興味が無いから調べてもいない
- であまり知りたいと思わない
- 基本的に投資は商売と不動産にする
- まだ、よく仕組みを分かっていない
- こういったことをしたことがないのでよくわからない
- まだ着手しておらず、今後考えて判断していく
- 投資にまわす資金がない 投資に関する知識がない
- NISAではなく保険と一緒に他のものに加入してるから
- 時間がなくてまだ十分に調べられていない
- 新NISAについて勉強不足でちゃんと勉強出来てから考えたい
- 手続きや口座など煩わしく、身近でないから
- 今はNISAの事を考える時間もお金も余裕がないから
- 既に数年前から複数のNISAを運用しているから
- 興味はあるがなかなか実行に移す行動が取れていない
- 利用しようと思っていて証券口座も作ってこれからしていく予定
- あまりわからないのと、その資金を集めてない
- 利用するほどのお金がない
- まだイマイチ理解をしていない
- 旧ニーサから新ニーサになったのみでなかった
- 口座を作ってこれからはじめていく
- 旧NISAを利用してまだ新NISAの事がよくわかってない
- 詳しく知らないためやり方がわからず資金もきびしい
- 全然わからないし、自分には向いていないと思うので、利用していない
- よくわからないから。詳しく教えてほしい。
- そっち系の話にすこぶる疎い
- やり方がわからない

飲食業

利用していない

50.0%



利用している

50.0%

利用している

- 旧NISAから利用していたので老後のことを考え継続中

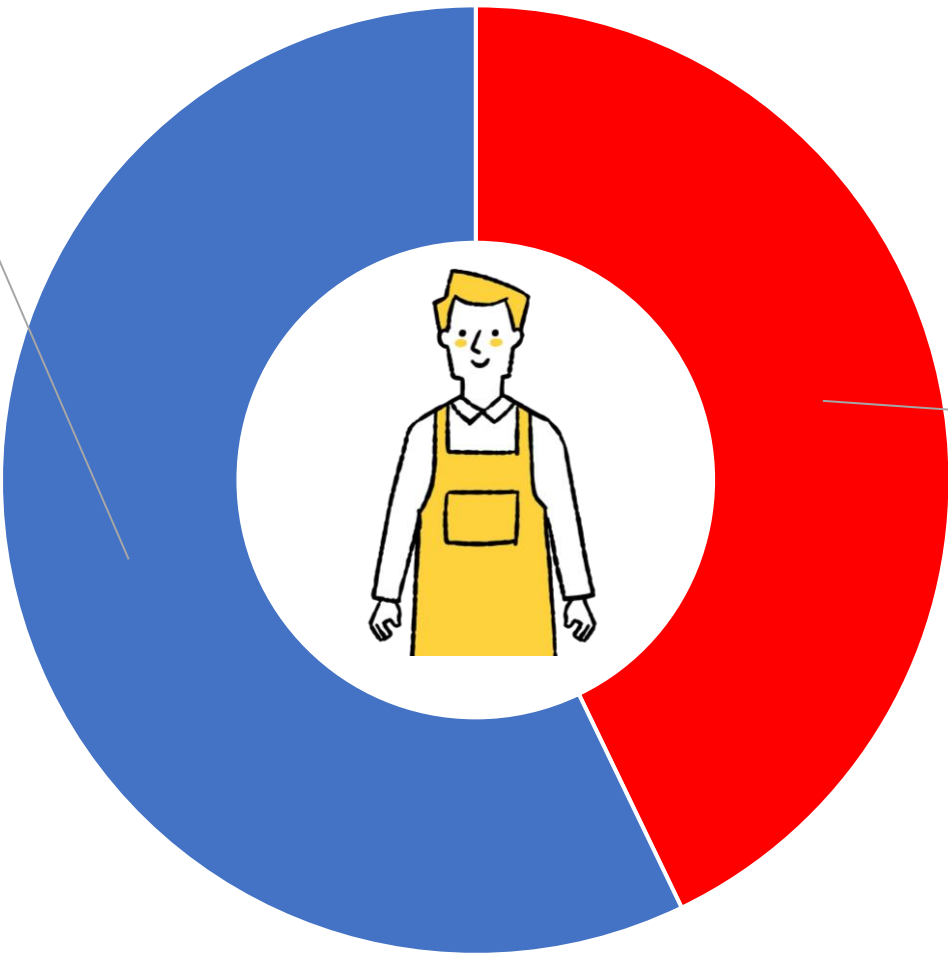
利用していない

- よく分からないしそこまでの余裕がない

小売業

利用していない

57.1%



利用している

42.9%

利用している

- idecoよりも使い勝手が良いと思う
- 旧NISAより毎月積み立てをしているので継続している
- クレジットカードで積立てなどもでき、ポイントが貯まったりしてお得に感じる
- 非課税で株式投資や投資信託の積み立てができるから
- 個人事業主なので老後が不安なのではじめた
- 使わないお金を預金しているより良いと考えている

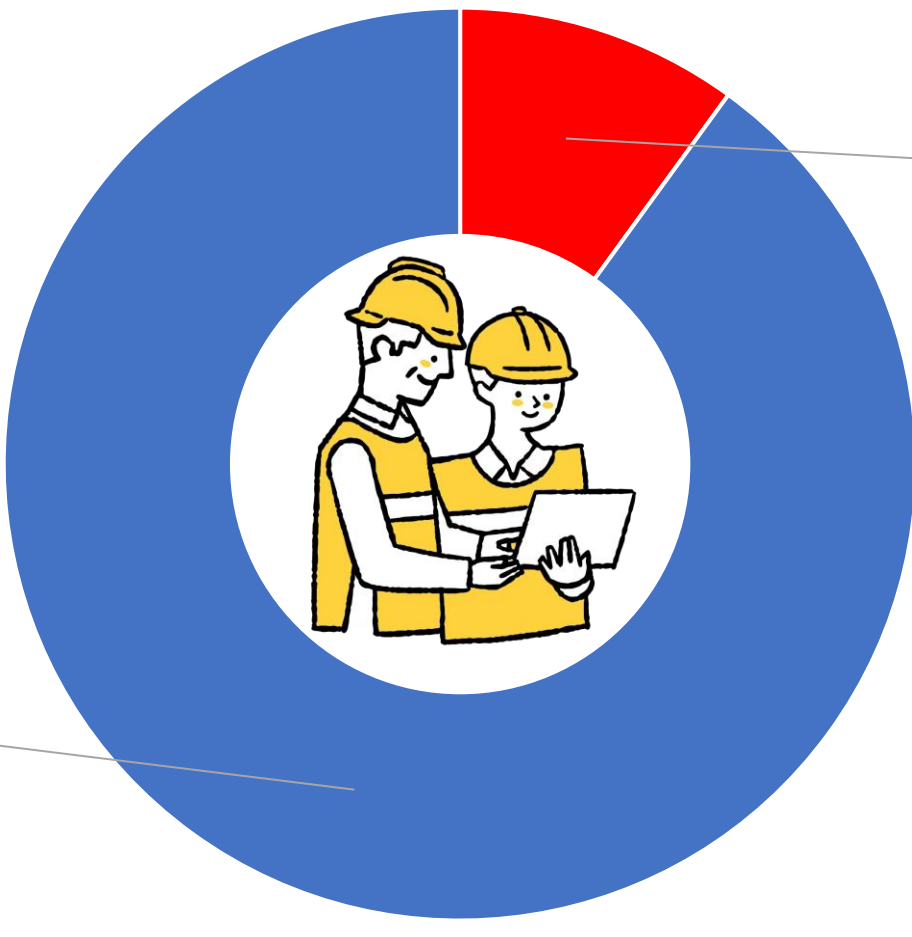
利用していない

- いつかは元本割れすると予想されるため利用は考えていない
- 50歳を過ぎているため、今からの積立には不安がある
- よくテレビで長期で持っているとかなり増えるってやっているけど、減る人もいる
- 特に急いで利用する必要性を感じない
- やり方がわからず、調べてもよくわからないため
- まだ理解できていないから申し込みできていない
- 新NISAよりも確実性の高い方法で運用している

建設業

利用していない

90.0%



利用している

10.0%

利用している

- 税金面での非課税メリットはかなり大きい
- 新NISAは非課税枠が拡大しており、投資収益が非課税となるため、将来の資産形成に有利

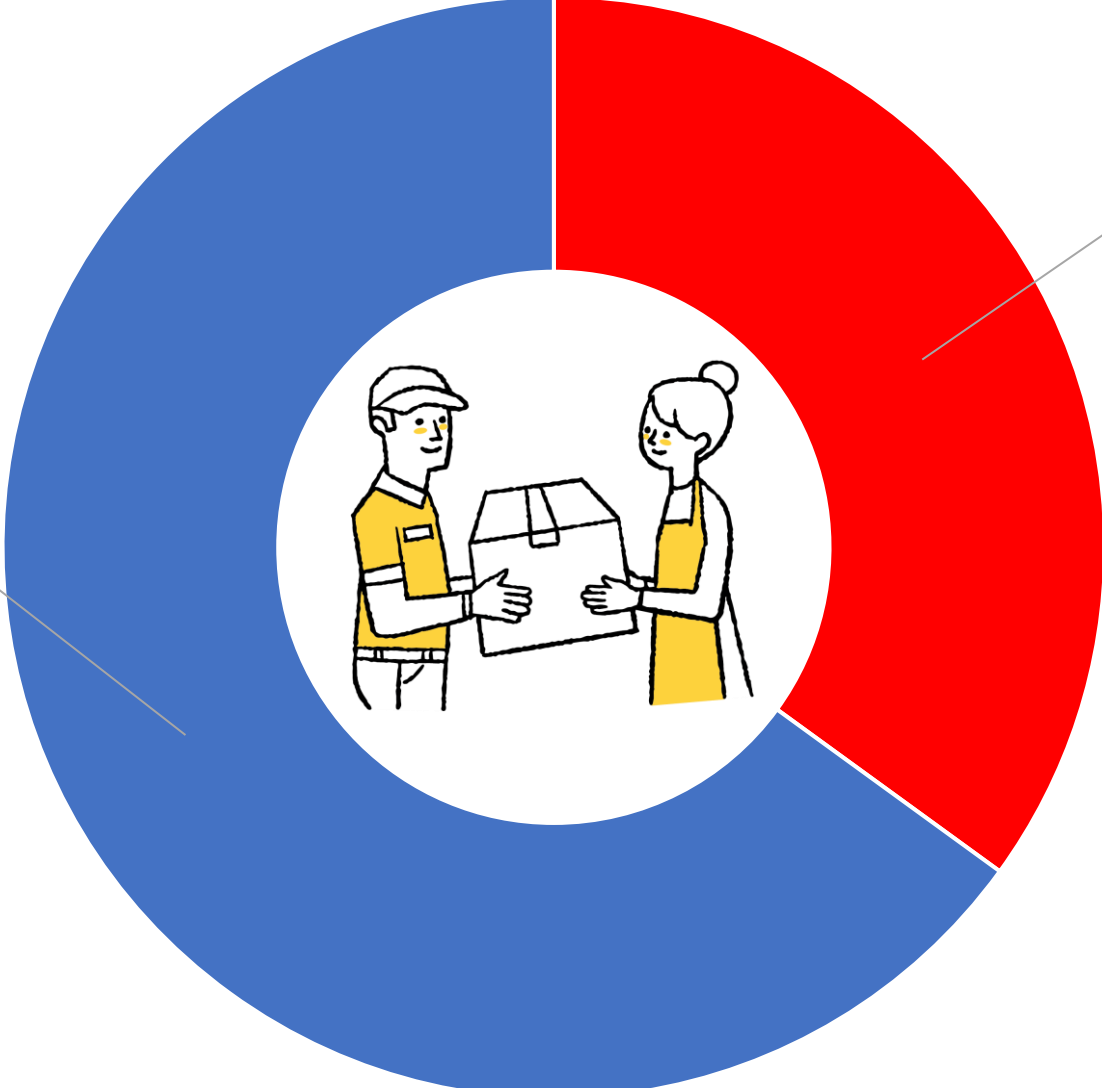
利用していない

- NISAがなんなのかわからない
- 新NISAを利用しての資金運用を考えてない
- 仕組みの理解が乏しい
- まだ様子見で十分に把握してからで良い
- 仕組みや内容が面倒でよく分からない
- 投資できるほど余裕がない
- あまり勉強をしていない
- 数年前から保険会社で運用している
- 必要性を感じていない
- 新しいことを学ぶ時間と余裕がない
- 新NISAの前の旧NISAを利用している
- NISAも新NISAもよく理解してない

運送業

利用して
いない

65.0%



利用している

35.0%

利用している

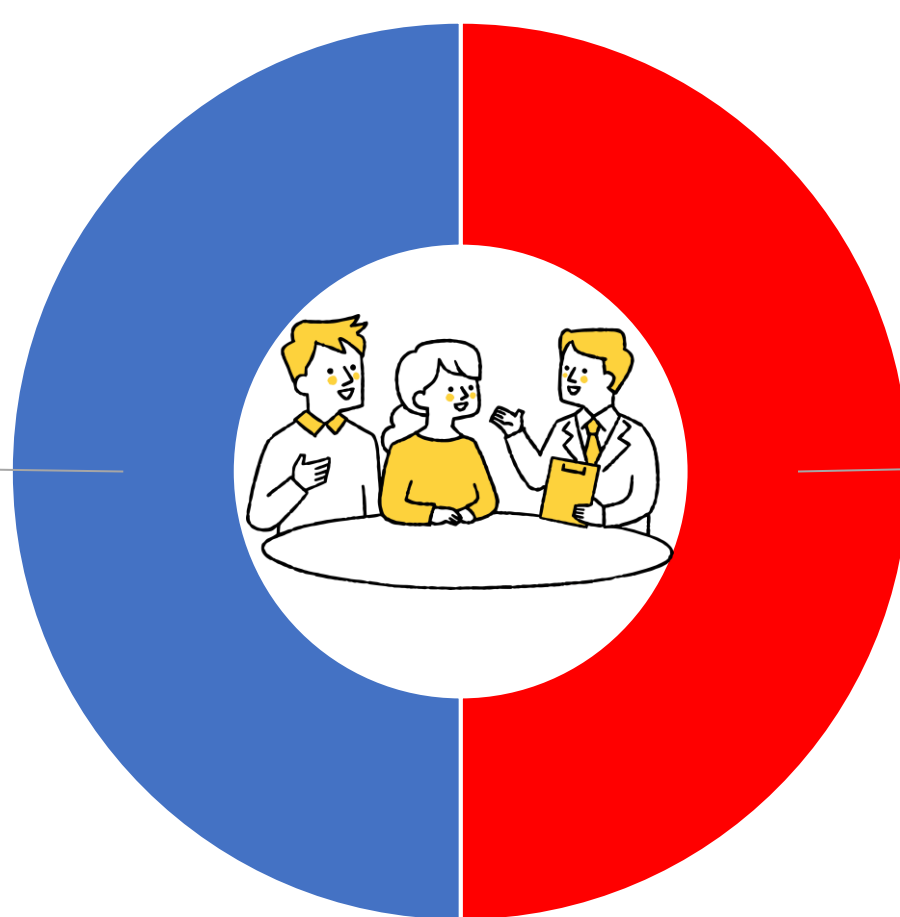
- 投資は元々ずっとしていたので使わない理由がない
- 当に老後の資金が大切と思うから
- 新NISAで得た利益の非課税保有期間が無期限になる
- 老後までにかなりの資産が残る予定だから
- 老後の資金が不安だから
- 以前から株式投資を行っていて必然とこの制度へ変更されていた
- 元々NISAをやっていたからその流れで

利用していない

- よく理解していないため
- 内容を良く理解していない
- NISAにかかる資金の余裕がない
- 新NISAに全く興味がない
- iDeCoを利用しており、いずれNISAも検討
- よくわからないから
- 始めようかと悩んでいる
- 売り上げの不安定さから、ずっと続けていく自信が無い
- しようとは思っているが最初の一步を踏み出せていない
- 変動がある以上必ずしも損しないとはいえない

不動産業

利用して
いない
50.0%



利用している
50.0%

利用している

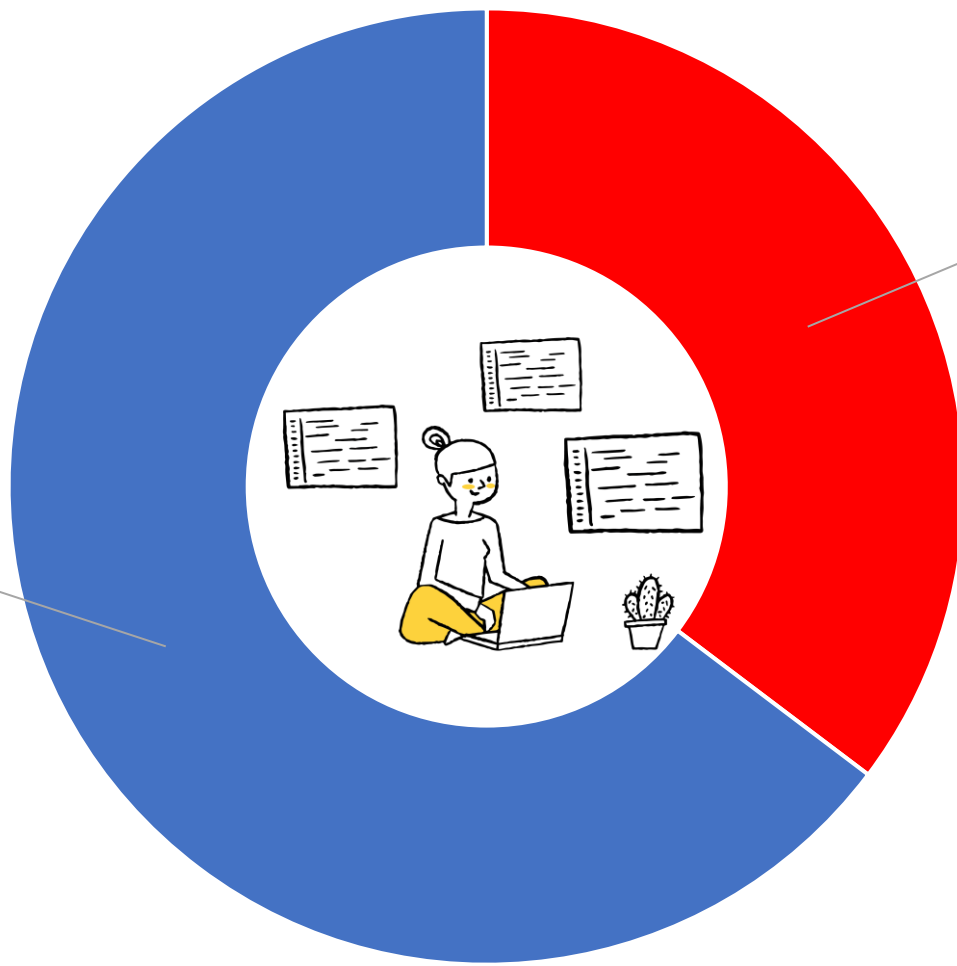
- 老後に対する不安があるため
- インフレリスク回避
- 資産形成にあたり、税金の負担が減ることが大きなメリット

利用していない

- 老後に関するイメージがない
- 長期で利用しないと意味がない
- 旧NISAは利用しているが、新NISAを利用しに銀行に行く余裕がない

WEBサービス業

利用して
いない
64.7%



利用している
35.3%

利用している

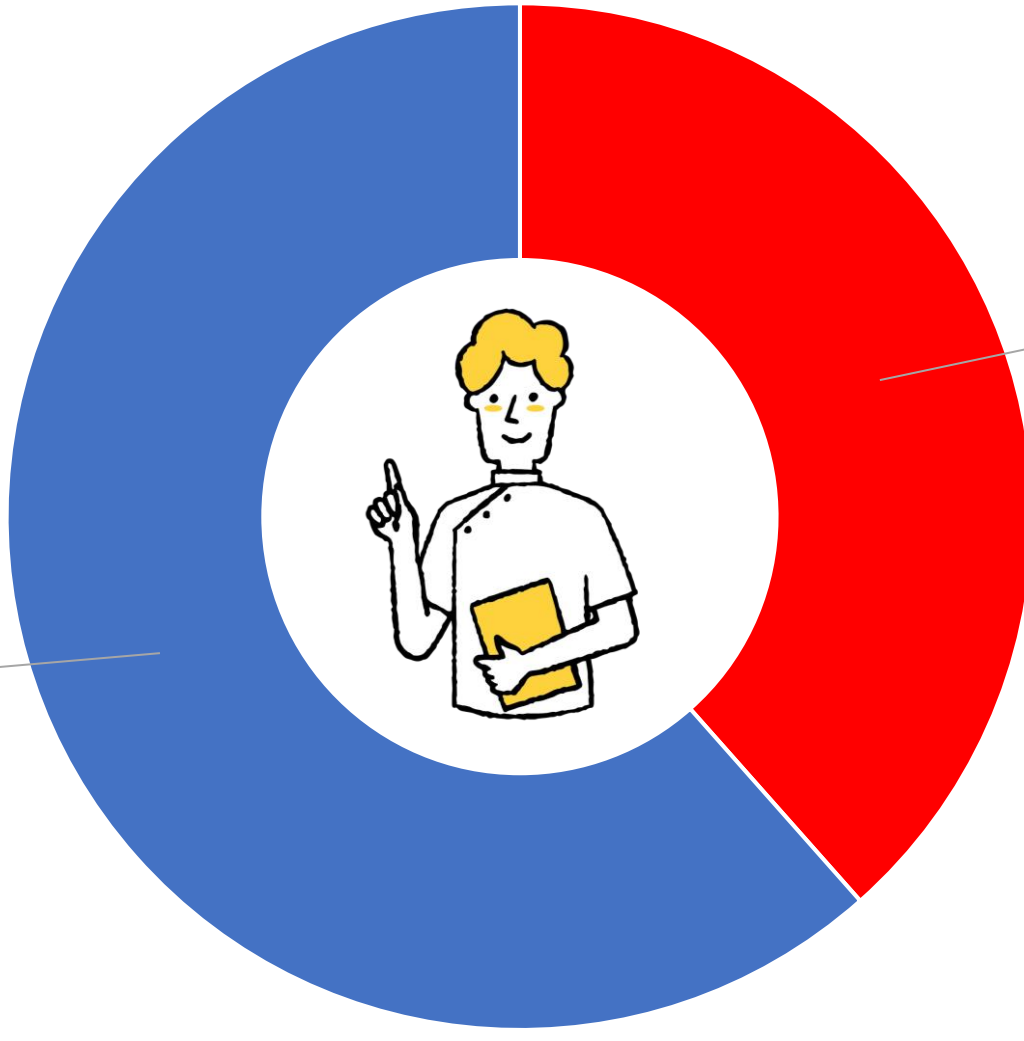
- 損失が出たときは損する可能性があるものの一旦利用している
- 元々利用していた旧nisaから自動的に新nisaに移行した
- 元々資産形成としてNISAを利用しようと考えていた
- 旧NISA時代から利用しており、自動的に新NISAに移行した
- お得なのである程度投資目的で利用している
- 余剰資金による老後への備えを目的にしている

利用していない

- そもそも今まで投資をあまり意識したことがなかった
- あまりよく分からない
- 手元のキャッシュに余裕がない
- そのうちやろうとは思っている
- 長期的な投資が好きではない
- まずは生活防衛費を優先して貯めておきたい
- 新NISAで運用する資金を確保することが難しい
- 旧NISAは利用しているが新NISAで変更された内容については特に活用していない

医療業・福祉業

利用して
いない
61.5%



利用している
38.5%

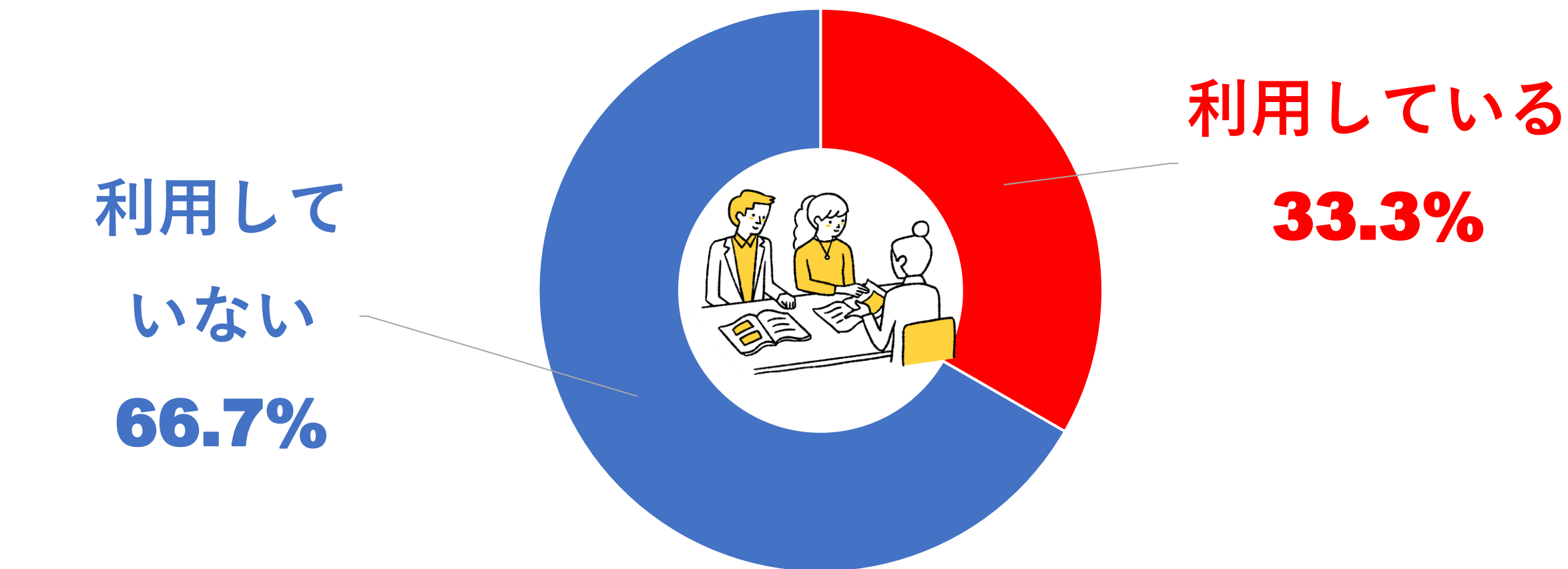
利用している

- 弟が証券会社で働いているのでお任せしている
- 節税対策になるから
- 老後資金の準備のためと現在の節税のため
- 新NISAで老後資金のための投資額を増やせた
- 今のところ増えているので続ける

利用していない

- 他に優先すべき、物をやっている
- 必要性を感じていない
- 制度自体の概要をよく知らない為どう活用したら良いのかわからない

専門家(士業・FP・コンサルなど)



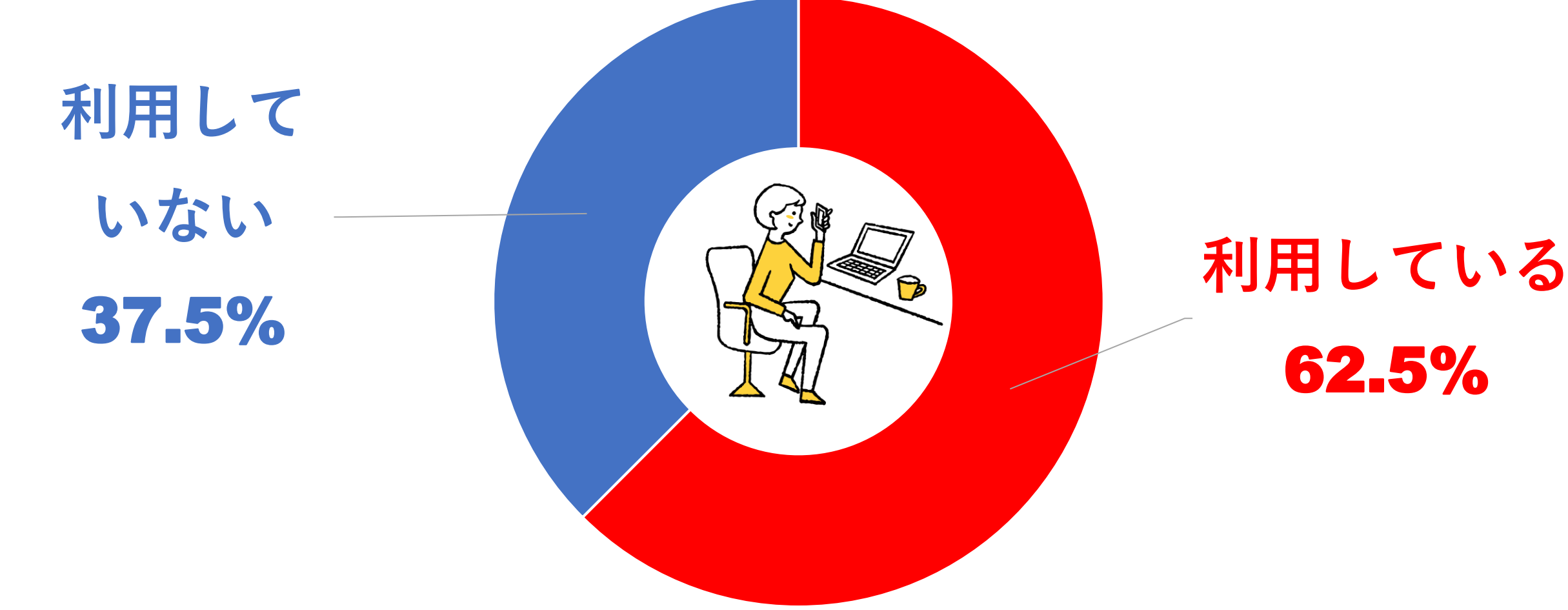
利用している

- 長期投資ならば高い確率で利益を出せるだろうか、節税メリットを取りに行くべき
- 非課税なので

利用していない

- 時間的、経済的余裕がない
- 老後の対策をいまだけんとうしてない
- 年齢もあるので今からではメリットがない
- 今は利用していないが、今後は利用しようと考えている

個人投資家



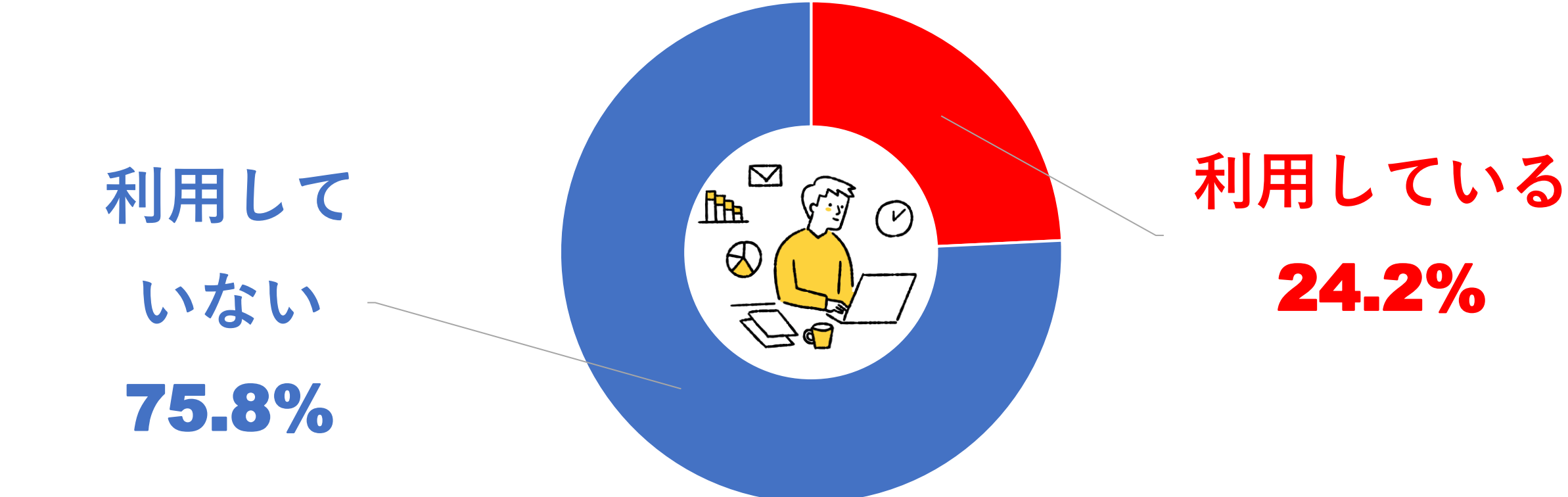
利用している

- 利益に対しての非課税期間が無期限であるため
- やはりある程度将来に蓄えておきたい
- やはり老後のことが心配であるから
- やった方がよさそうだから、とりあえず始めました
- 節税対策になることが明確だから

利用していない

- NISAに興味がなかった
- 利用したいとは思っているがなかなか踏み出せない
- 新NISAを利用するための投資資金がない

その他



利用している

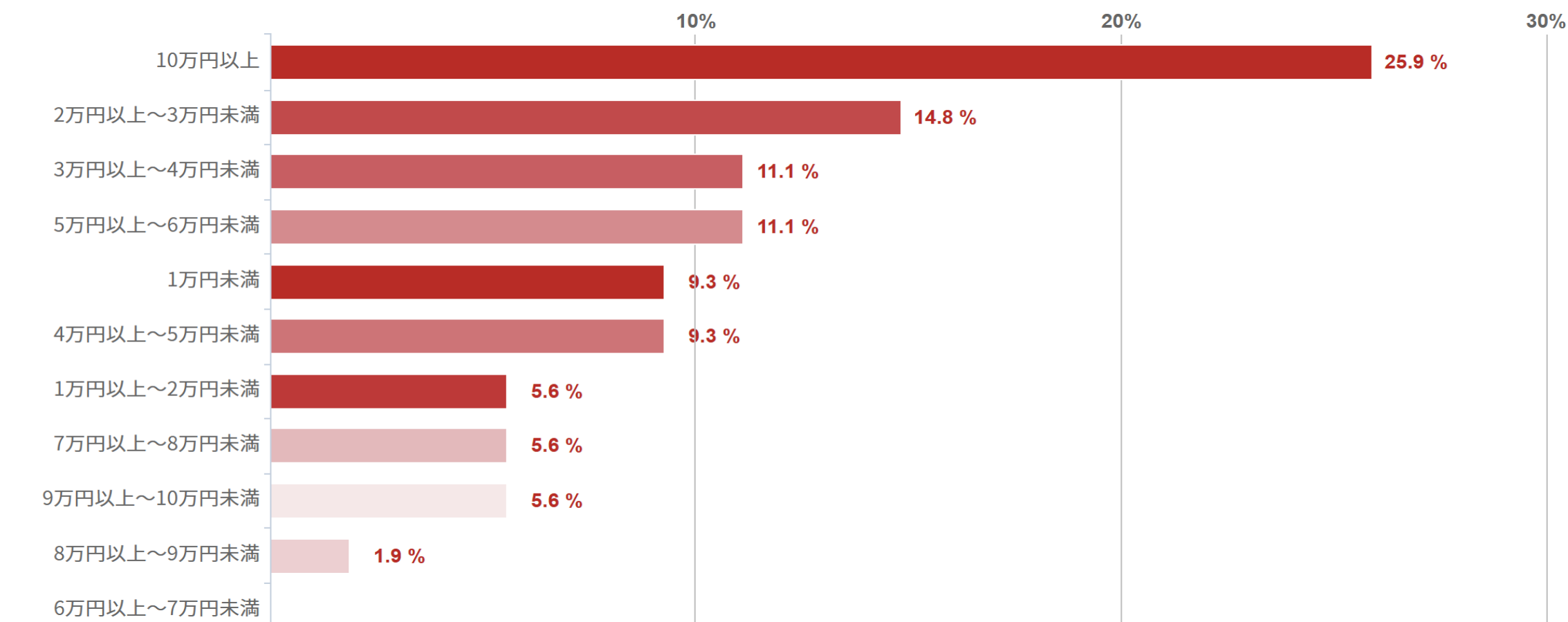
- 旧NISAから証券会社の方で移行された
- 非課税枠を使っておかないと通常の運用だと課税されるため
- 成長投資枠の税金面が、通常の株式購入よりも有利だから
- 旧制度に比べると 投資利用額が増えたため
- NISA非課税制度はやはり魅力的だと感じるから
- 銀行に預けてもたいした利子でないから
- 銀行に預けるより良い可能性がある
- 投資しておきたいのでせっかくなので税金が安くなる方法で

利用していない

- 他で資産形成をしてるので今は必要がない
- 余剰資金がない
- 投資先を検討中
- 入るタイミングをはかっている
- 医療保険を見直している段階
- 旧NISAで設定したあとと変更をしておらず、併用して使えるのかもわかっていない
- NISAについて知らない
- 手続きが手間に感じる
- 長期運用は難しい

毎月の積立て金額

－毎月の積立て金額を教えてください

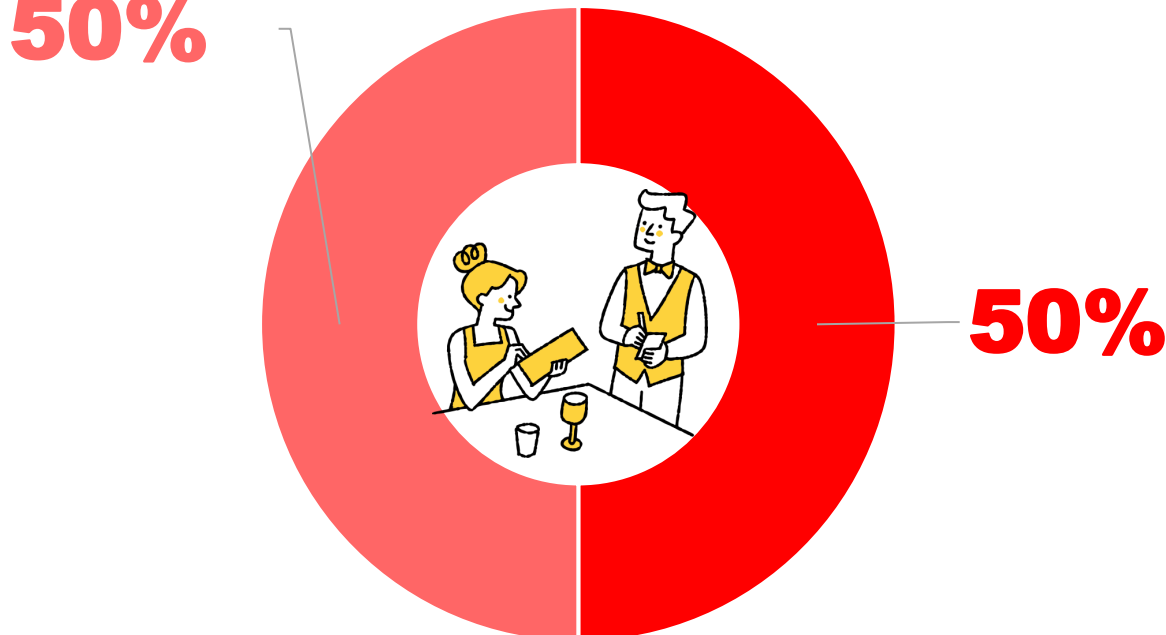
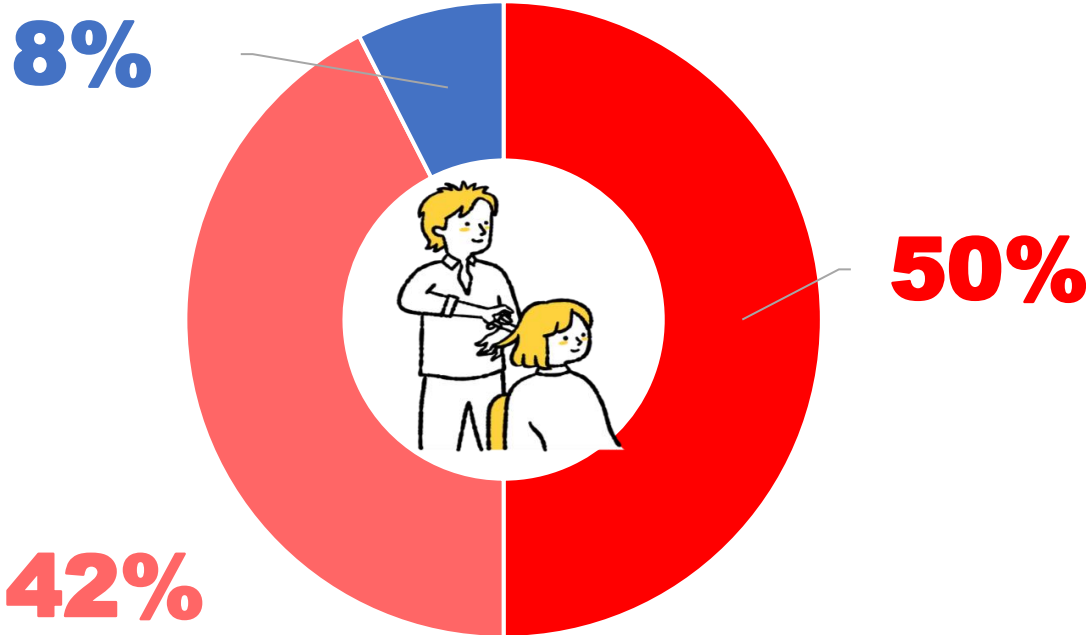


老後のための資産形成の有無

－NISA以外に老後のための資産形成をしていますか？

▼美容業

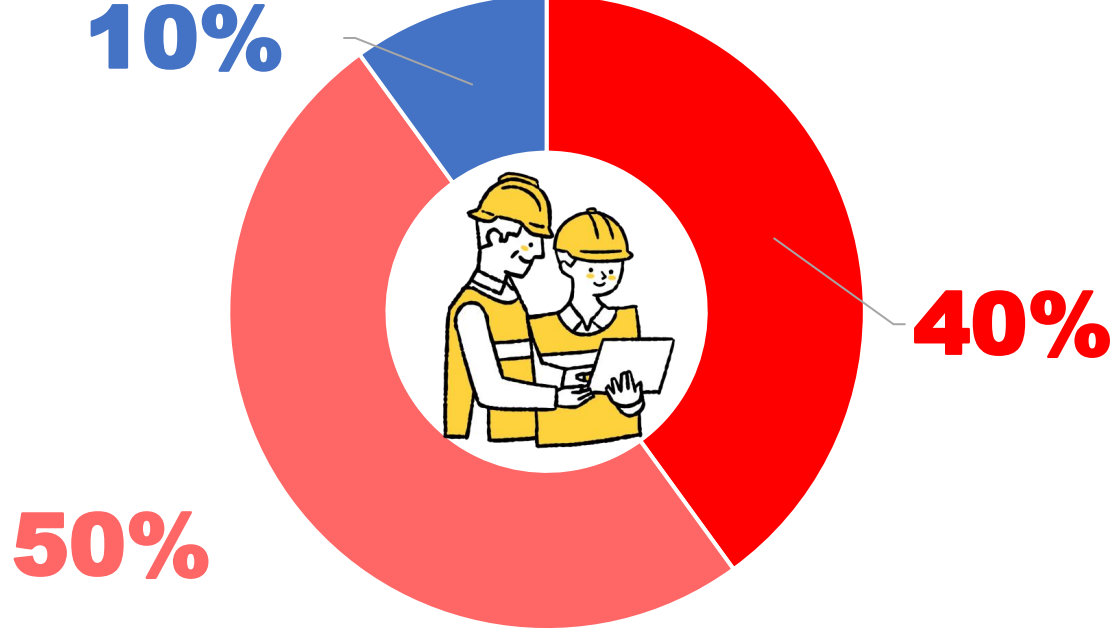
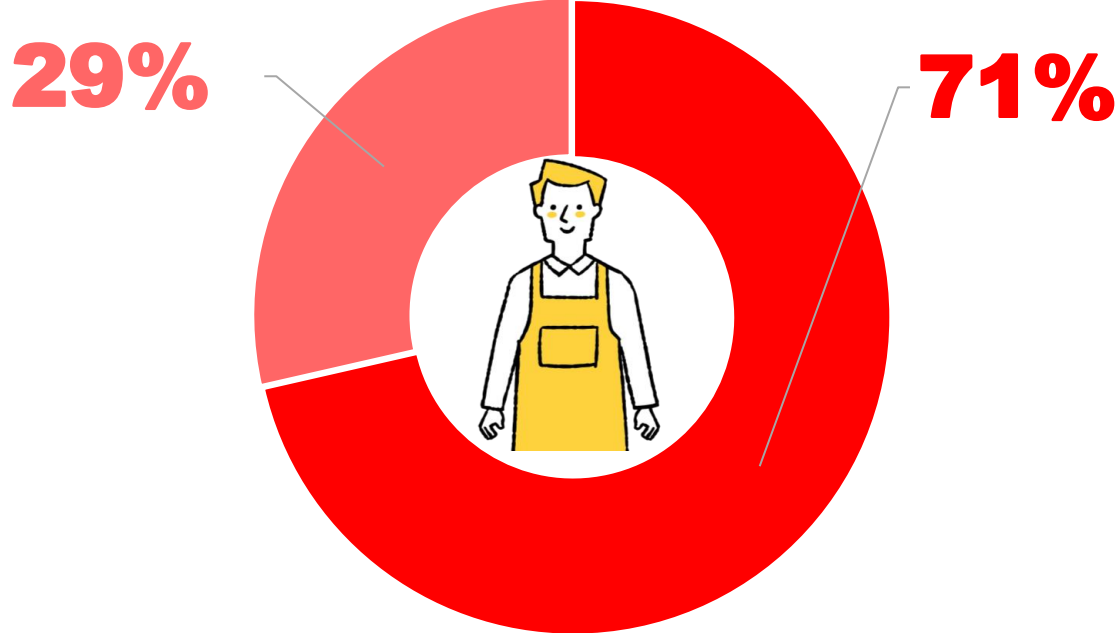
▼飲食業



行っている 行っていないが、検討している 行っていないし、検討もしていない

▼小売業

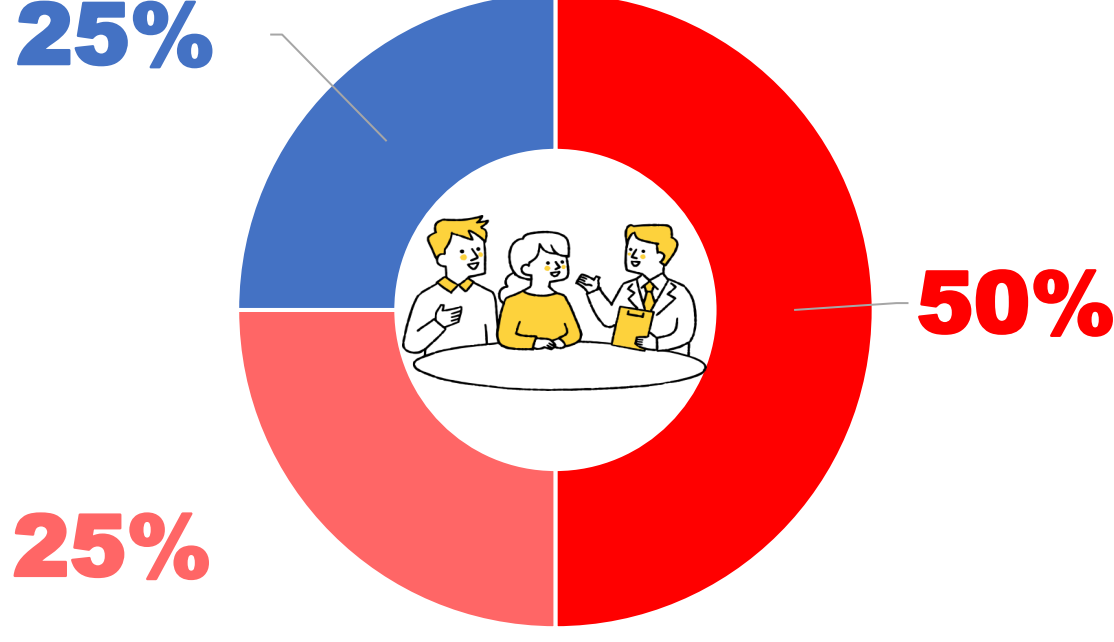
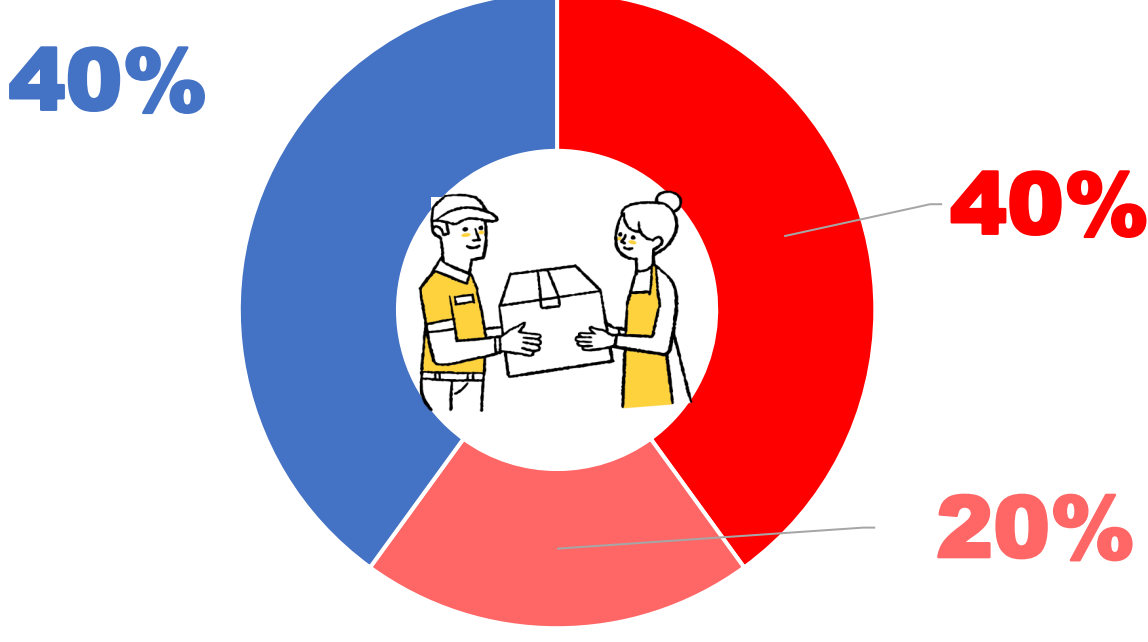
▼建設業



行っている 行っていないが、検討している 行っていないし、検討もしていない

▼運送業

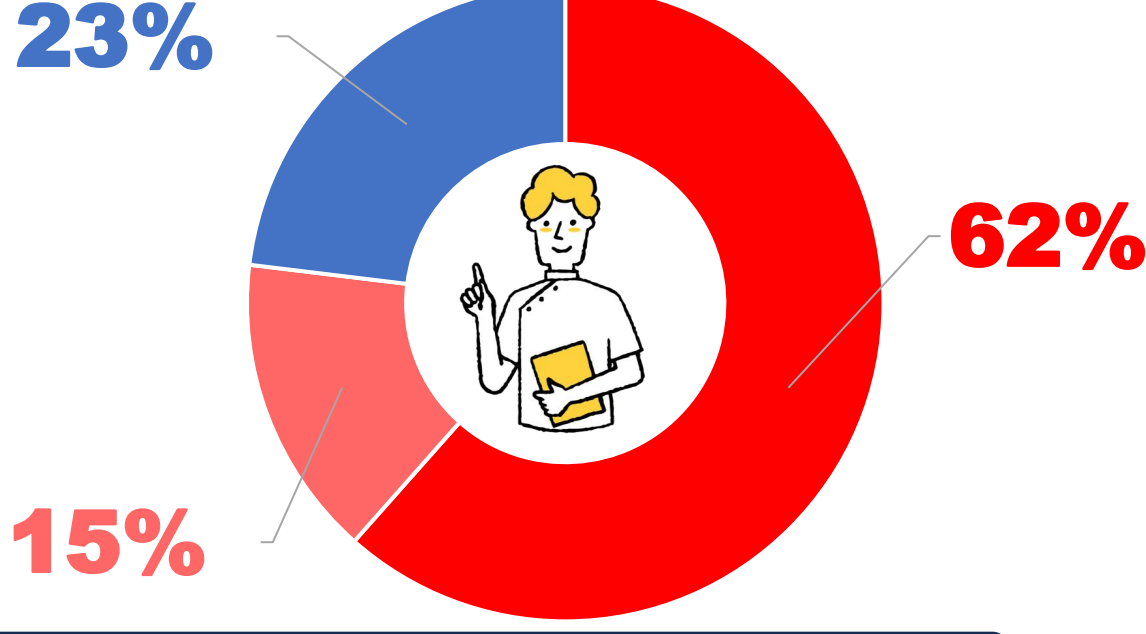
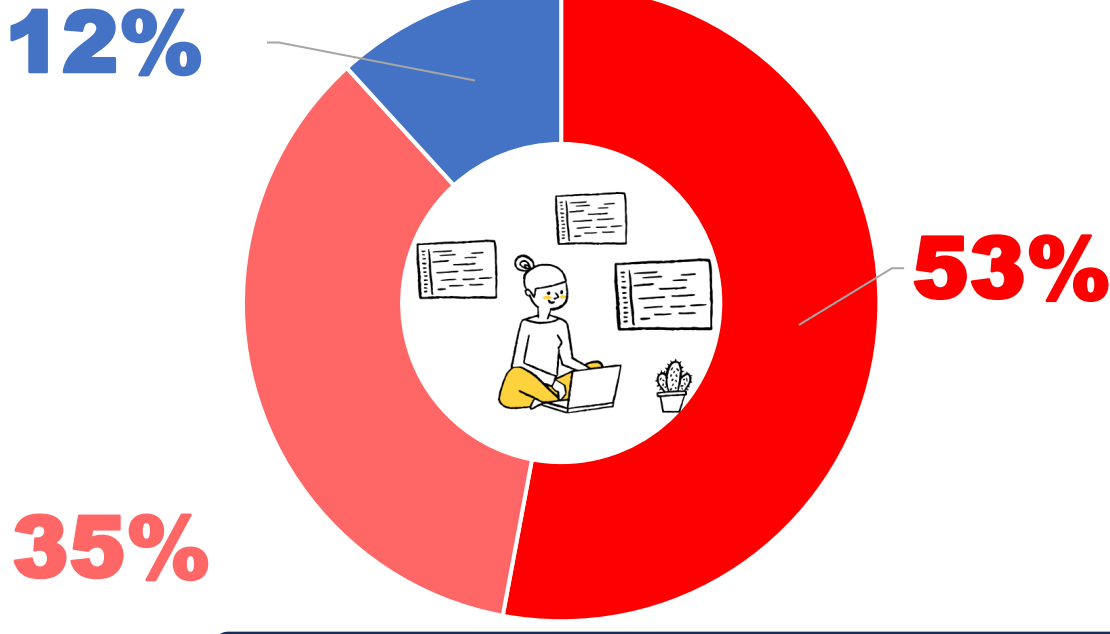
▼不動産業



行っている 行っていないが、検討している 行っていないし、検討もしていない

▼WEBサービス業

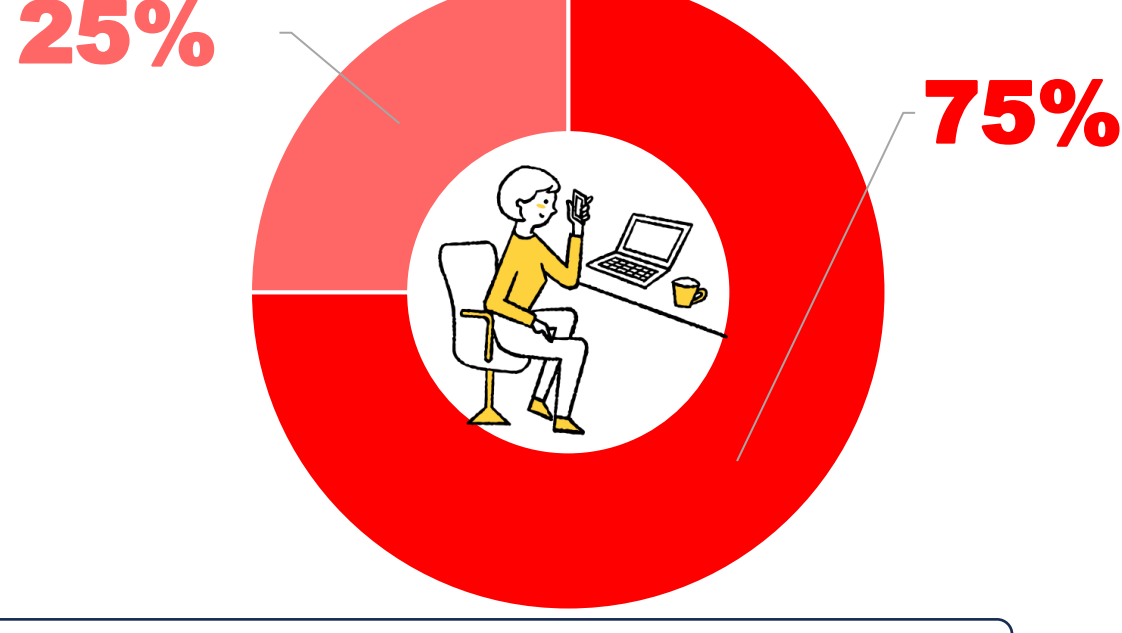
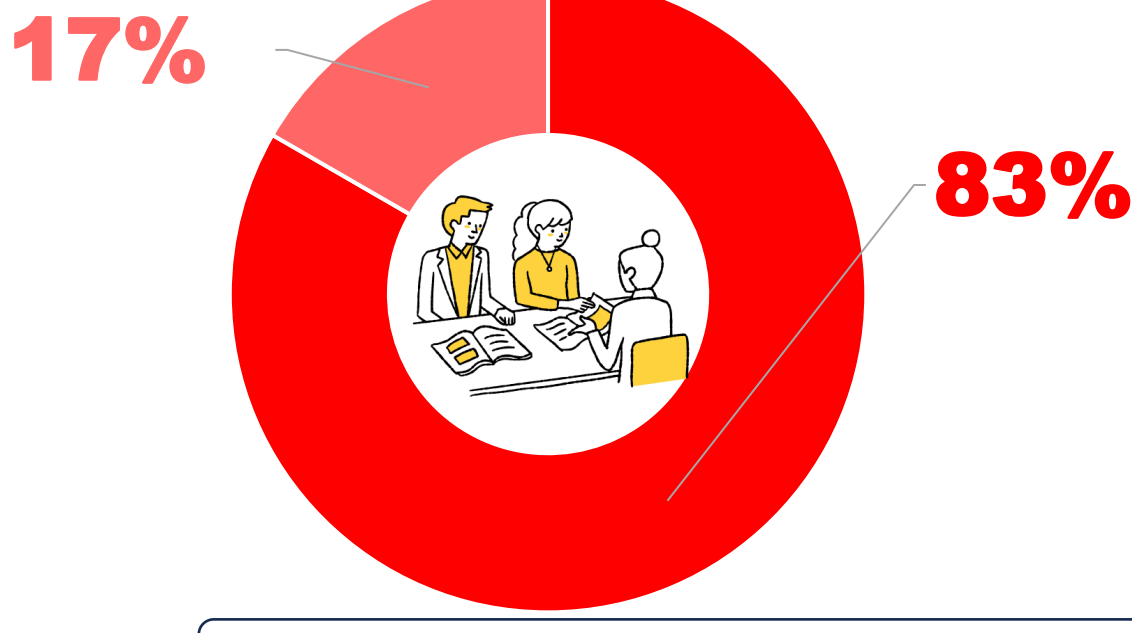
▼医療業・福祉業



行っている 行っていないが、検討している 行っていないし、検討もしていない

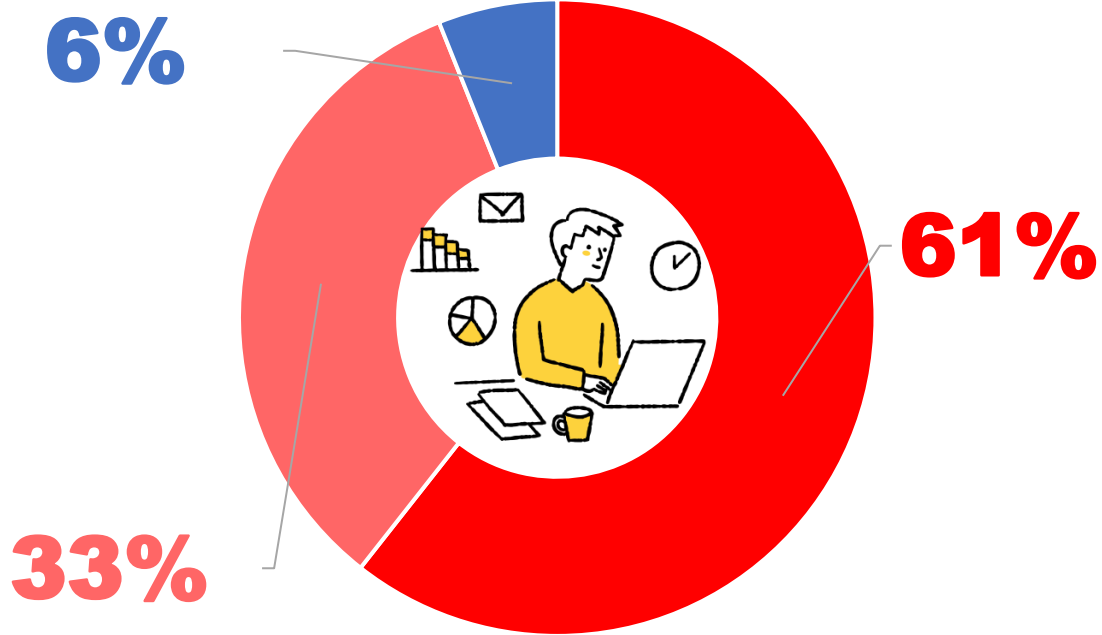
▼専門家(士業・FP・コンサルなど)

▼個人投資家



行っている 行っていないが、検討している 行っていないし、検討もしていない

▼その他

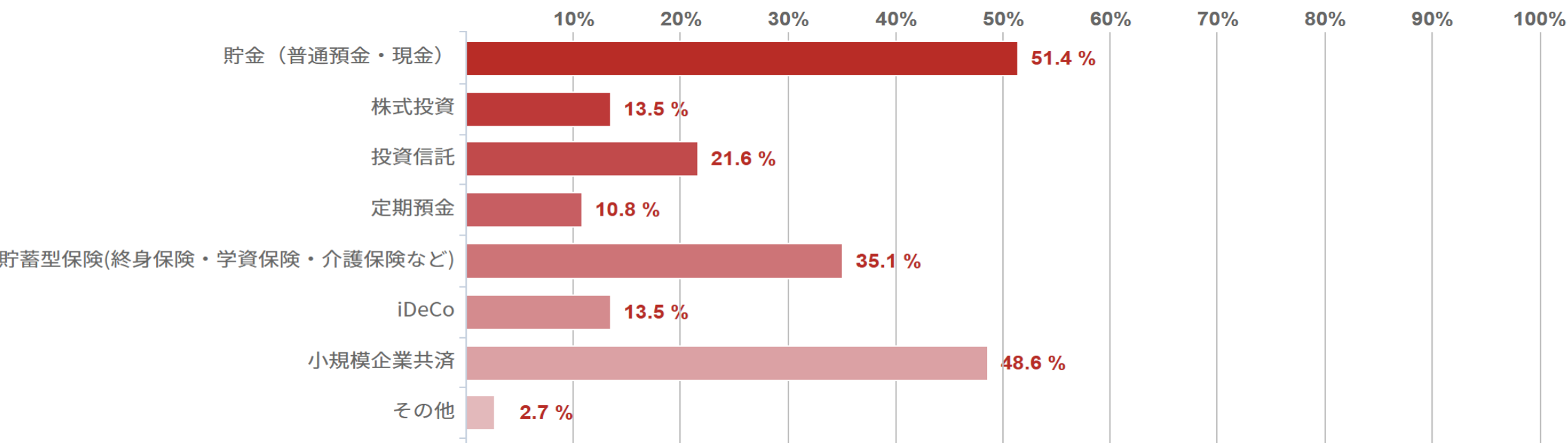


行っている 行っていないが、検討している 行っていないし、検討もしていない

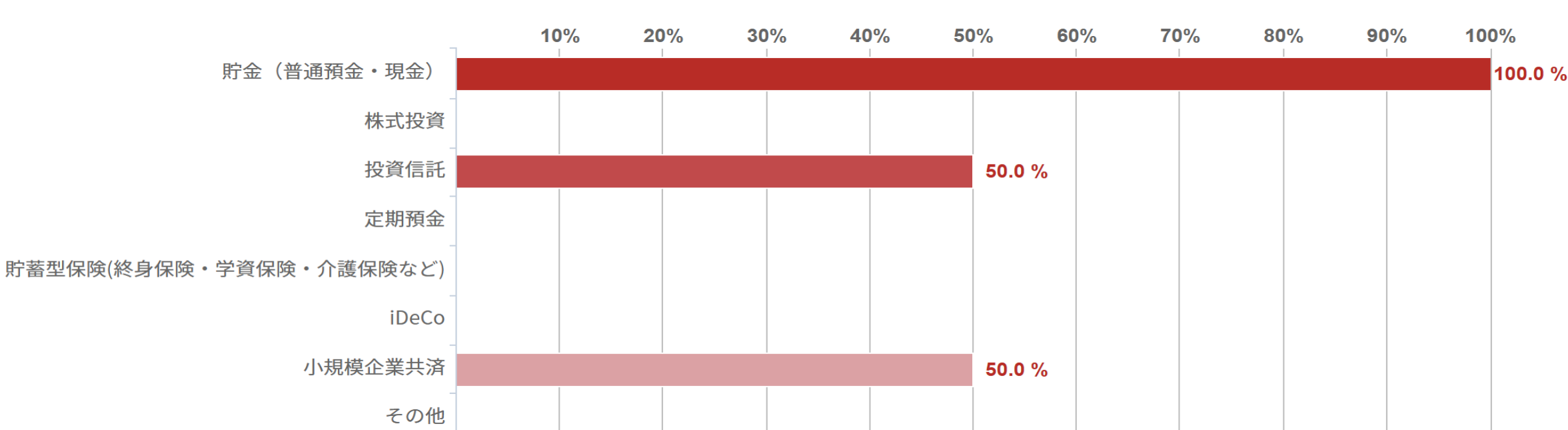
老後のための資産形成手段

－どのような資産形成を行っている、または検討していますか？

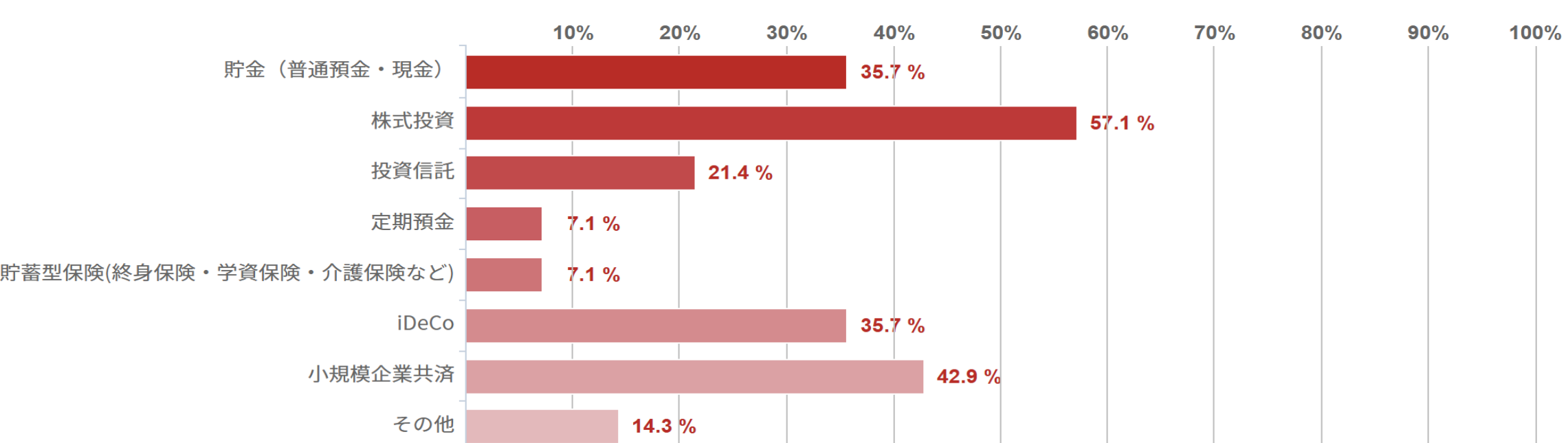
▼美容業



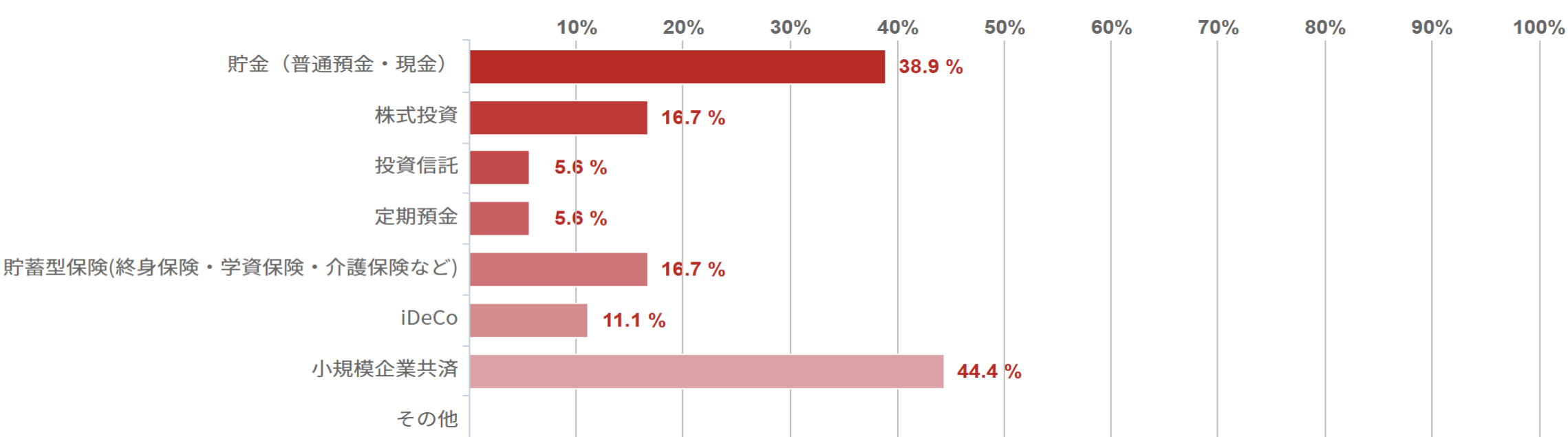
▼飲食業



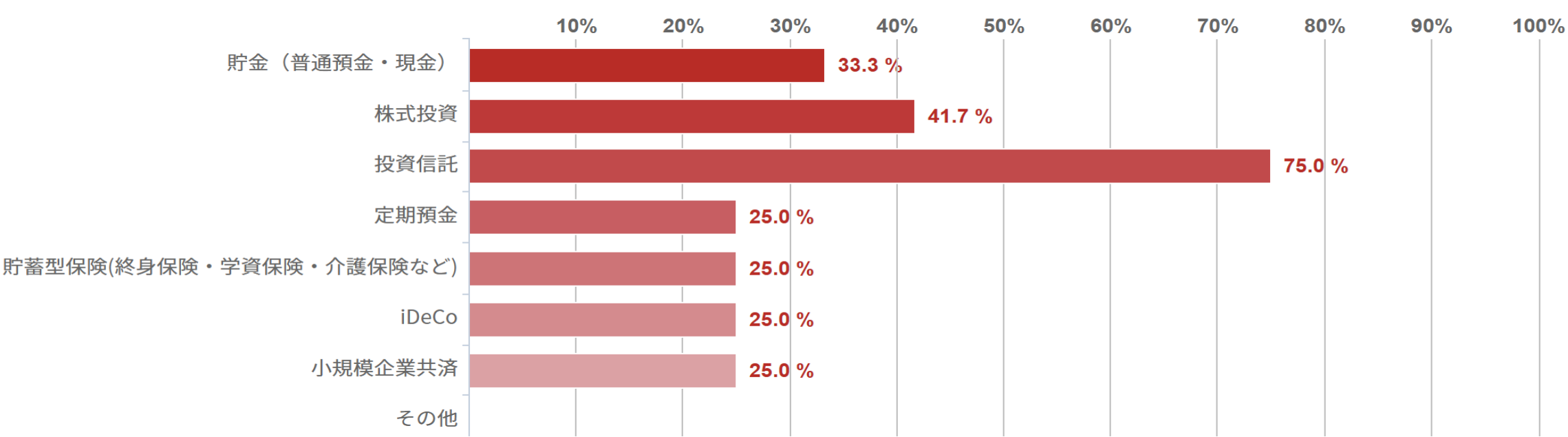
▼小売業



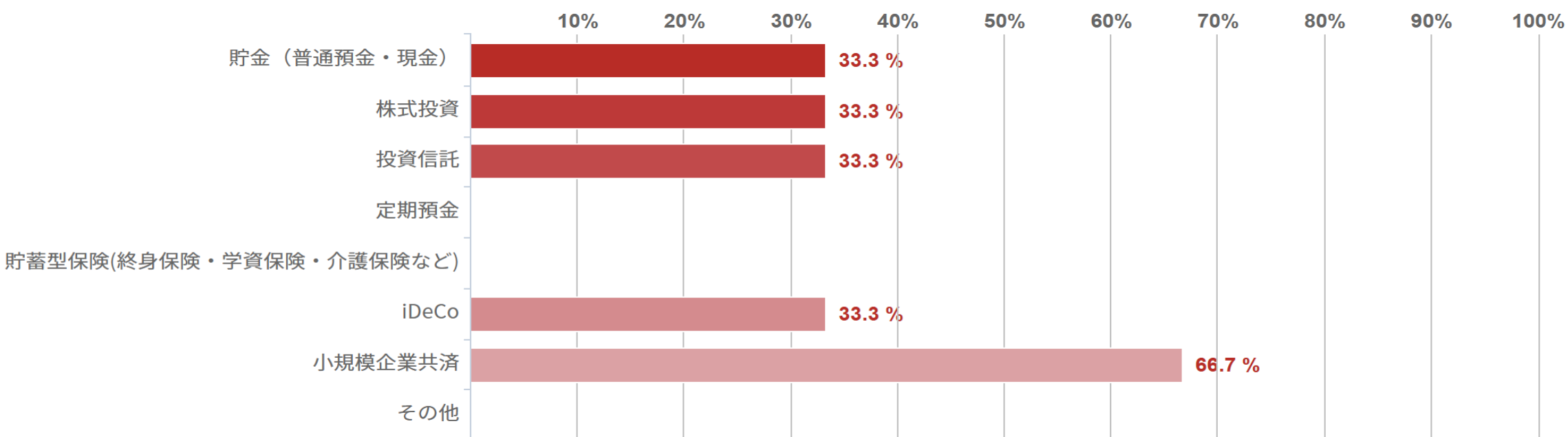
▼建設業



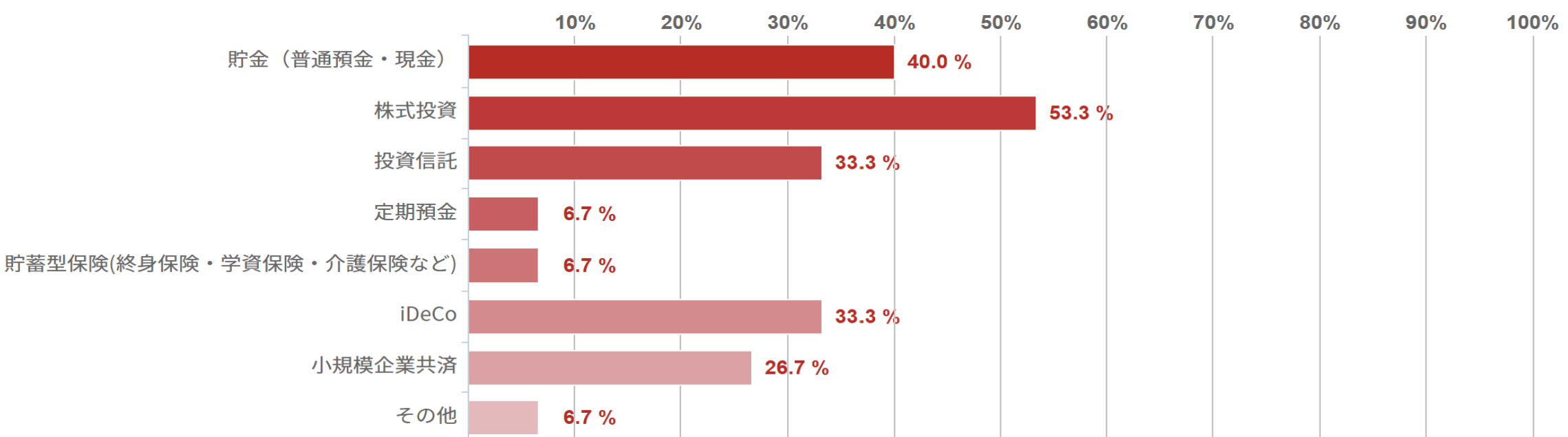
▼運送業



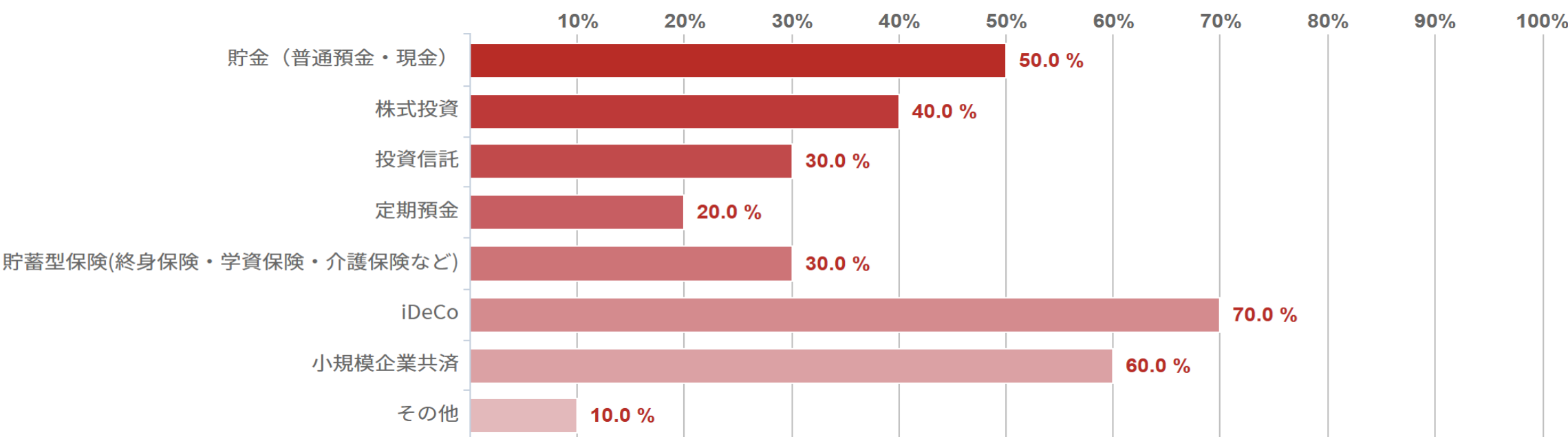
▼不動産業



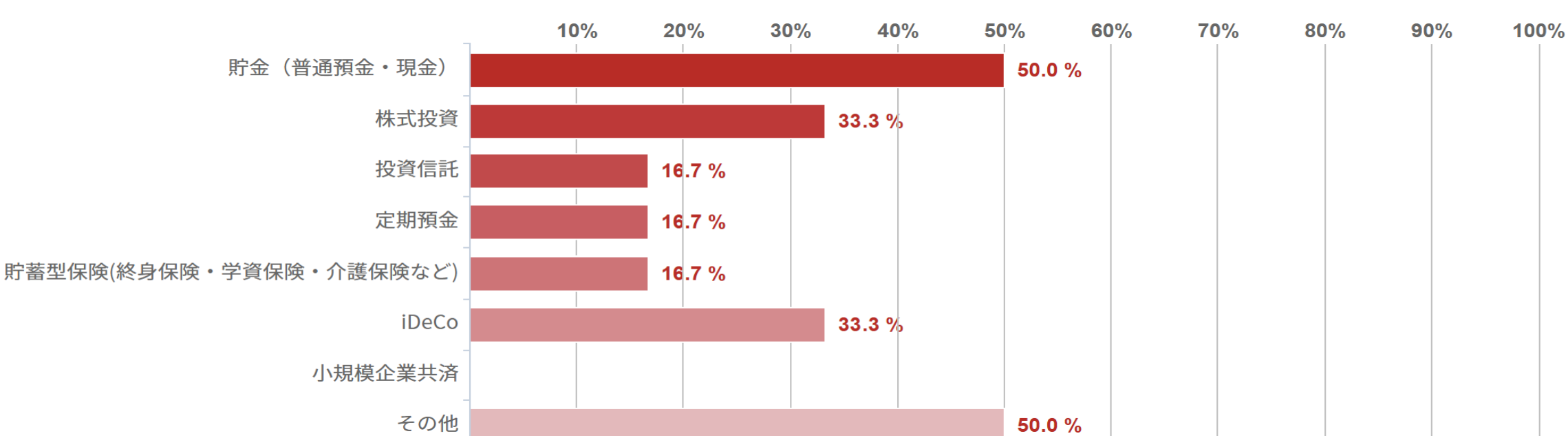
▼WEBサービス業



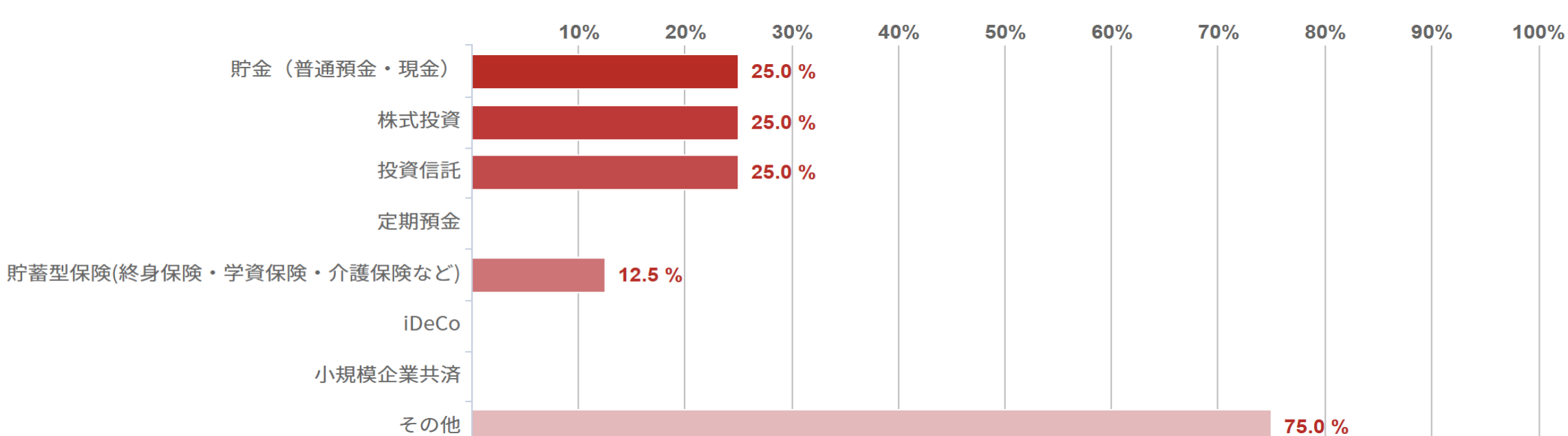
▼医療業・福祉業



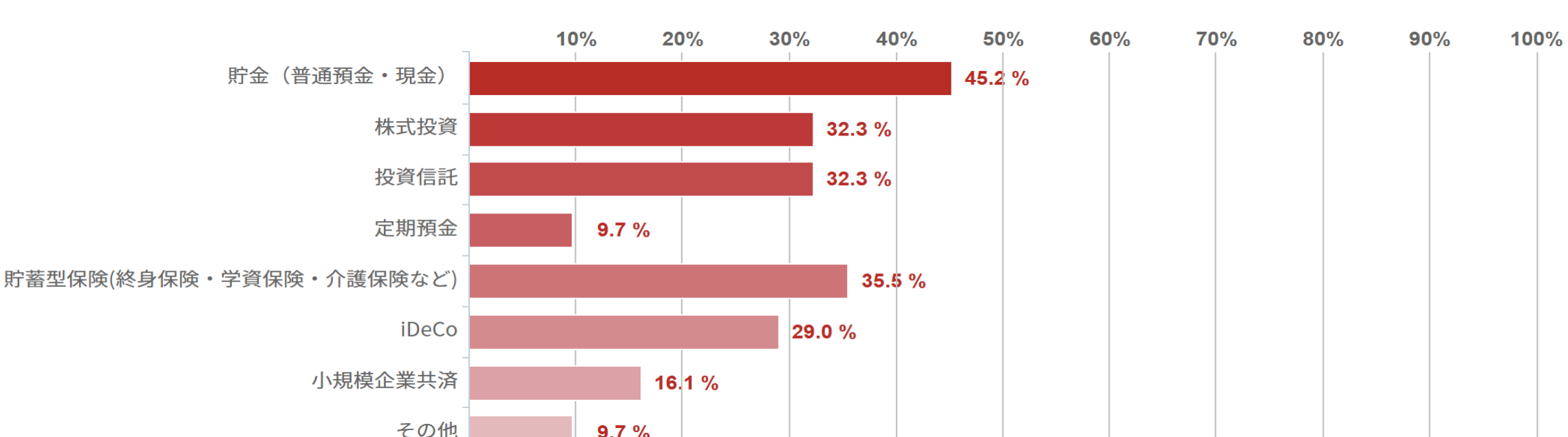
▼専門家(士業・FP・コンサルなど)



▼個人投資家



▼その他



老後のための資金形成に対する考え

－老後資金に対する今のあなたの考えを教えてください

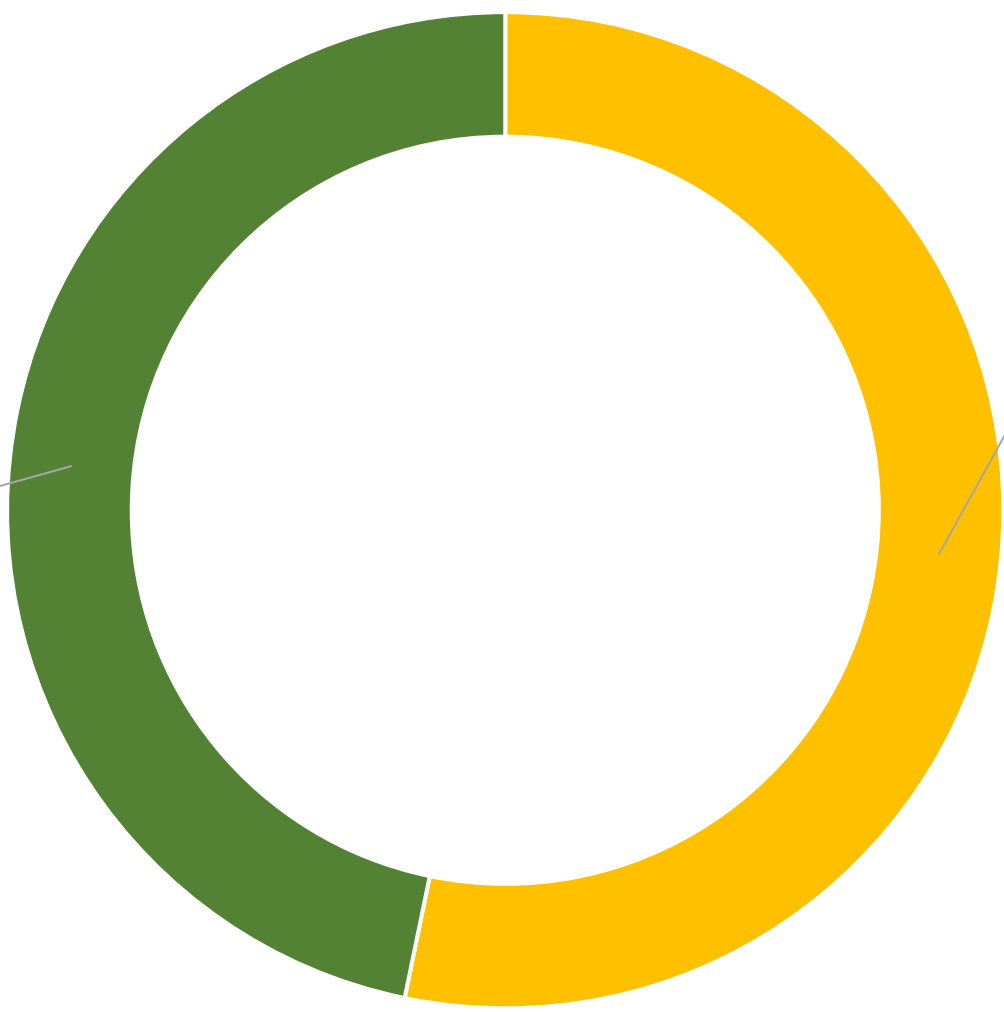
- 老後資金はあった方がいいが現状の生活が厳しいため資金をまわせない
- 現金主義なので現金貯金
- 余裕がない為、あれば貯蓄する
- 元気に働き続けられるように食べ物に気を遣い、身体を作ることが老後の資金に対する対策
- 健康第一で生涯現役で商売することを当たり前で生活しているから
- 娘に必要な保険金、不動産などが渡せれば自身の資金は必要ない
- まだ若いから老後は今のところ全く考えていない
- 物価高で収入も上がらず老後の心配までしている余裕がない
- 年金受給で節約生活をして行く
- 今の経済システムは今後急激にまるで違うものに変化すると考えている
- まだ先のことなので労力を使えていない
- 預金と年金
- 資産形成まで目が行かない
- 何もしていない
- 老後に備えて蓄えるということを重要視していない

新NISAを利用するメリット

— 個人事業主にとって、新NISAを利用する上でのメリットを教えてください

節税メ
リット
46.8%

老後・資産
形成
53.2%



老後・資産形成

- 節税策や将来的に少ない厚生年金を補充する
- 成長投資枠と積み立て投資枠が併用出来るようになったので余裕が出来たら成長投資枠も利用したい
- 退職金が無く、年金も少ないので老後の安心につながる
- リスクが低めで資産を増やす事ができる可能性が高い
- 退職金などが無いため、老後に必要な資金を運用できる
- 余剰資金とする分としては理にかなってる
- 年金が厚生年金よりも少額になるので、そこを補うことができる
- 事業収入以外のリスクヘッジになる
- 退職金代わりや老後の資金として期待できる
- 資産運用によって収益の不安定さや老後資金への不安の解消にもつながる
- 年金があてにならない今では、老後資金を貯める方法のひとつ
- 非課税保有期間が無期限になるので、上限を使い切れば老後の資金としてかなり有利になりそう
- 新NISAの上限値がかさ上げされているので余裕資金内でさらに積み上げられる
- 資産形成なので複利で増えていけば20年後には資金として余裕で
- NISAは株なので、長期運用できれば確実に資産が増える
- 資金融通の中で一つの選択肢
- 相場の状況によっては、投資額を上回る配当が得られる
- 老後資金に充てられる
- 長期的に考えたら、貯蓄するためには良い
- うまいこと積立ていけたら老後の生活に余裕ができそう
- 将来的な資産形成をするにあたっては利用する価値がとてもある
- 銀行預金に比べて将来的戻ってくる金額が多い
- 株のように毎日見ていなくて良い
- 銀行に預貯金するよりもお金が増える可能性がある
- 定期的に掛けることで投資として増えていく
- 任せておくだけで良いので、気持ち的に楽
- 手軽に始められて、手元に資金が必要なときは引き出すこともできる
- 国民年金だけで足りない部分を補う手段として有利な制度
- 厚生年金がない 個人事業主には、有効な制度
- 人生100年と言われていて、自身が働けなくなった際の資金運用には必要
- 年金に期待できないから自己責任で運用できる
- 資産を増やす上でお金にも働いてもらえる
- 株価が順当に上昇するならば、老後の資金になる
- 3～5万以下の少額でも20～30年後にはある程度の元本と利益が見込める
- お金を貯めて行ける
- いつでも解約が可能
- 少額から投資できる
- 老後の生活にプラスになるのは安心材料になる
- 退職金や年金も少ないため、将来にお金を残せる
- 世界的に経済成長している傾向にあり、全世界的に投資をすれば大きなリスクなく、資産が増やせる
- 決まった貯蓄をしていくことで将来の不安を軽減していくことができる
- 退職金がないので、その代わりの備え
- 貯金以上に資金が増える可能性がある
- 長期的に考えるとプラスに働く

節税メリット

- 税金優遇もあり、低金利時代の選択肢
- 非課税額が上がったはずなので、それは大きい
- 控除があるので確定申告時には非常にありがたい。
- 節税メリットを取りつついつでも換金できるという点で個人事業主向き
- 非課税枠の拡充や、非課税期間の無期限化などある
- 分配金や運用益が非課税なこと
- 使用して節税しつつ資産形成することができる
- 投資可能額、非課税保有限度額の拡大によって効率的な資産形成ができる
- 非課税枠が増えたので、使う予定のないお金は投資に充てることができる
- 老後のための資産運用、節税対策として有効
- 税金を免除してもらえるため、手元に残る額は大きい
- 毎年の税金対策ができながら貯蓄ができる
- 政府が推進していて税制的な優遇が得られる
- 非課税枠の拡充や非課税期間の無期限化
- 経費として使えるので小規模共済のように使い勝手が良い
- 個人事業主に関わらず税金面での恩恵はかなり大きい
- 運用益が非課税で確定申告も不要、節税になる
- 投資での利益に対して税金がかからないこと
- 税金の優遇措置
- 非課税区分の多さ、上限金額の高さなど優遇が多い
- 成長投資枠での株式投資が税金面で有利
- 保険料が所得控除の対象となり、積立をすることができる
- 退職金が無い個人事業主なので積み立てれる方法が非課税なのありがたい
- 非課税保有限度額の増額 非課税期間が無期限である
- 約20%の税金を取られずに積立し資産形成出来る
- 税率が一定金額ゼロになるところがメリット
- 貯金しているイメージで、税金がかからない
- 将来にわたって非課税で国内株式配当が受け取ることができる
- 無期間に投資できる
- 利益が非課税のため、特定口座を使うよりも手取り額が増える

新NISAを利用するデメリット

－個人事業主にとって、新NISAを利用する上でのデメリットを教えてください

資金の拘束

13.6%

リスク

42.4%

勉強の必要性

44.1%

勉強の必要性

- 何を選ぶのか、こだわり等があると大変そう
- 子供のためにNISAを利用したいが手続きが面倒
- NISAがどうゆう風なのか知識ないからわかりません
- 新NISAに対する知識が不足している
- 投資判断を下すにあたって、迷う場面が増える可能性がある
- 利益という観点から考えると即効性はない
- 登録するのが面倒くさいと思う
- リスクが理解できないこと
- 少額なので長期的にしていかなないと意味がない
- 十分な理解が必要
- 掛金が所得控除の対象にならない
- NISAについてあまり良く理解していない
- いろいろと不安になる
- 100%上がるわけではないのでしっかりと勉強が必要
- 本当によいものなのかどうか不透明
- しっかり情報を収集する必要がある
- 制度がわかりにくい
- 知らないと損している
- まだよくわかっていない
- 投資に対してどれくらい回収出来るかよくわからない
- よくわからないことへの不安
- どの銘柄に投資すれば良いかわからない

減るリスク

- 銘柄選びや決済時に失敗して損をしそう
- 現在自分が想定している程株価が上がらないかもしれない
- 元本割れのリスク
- お金が減る可能性もある
- いつかは値下がりして元本割れする可能性
- 損失が生じたときに他の利益との通算ができないのでハイリスク投資は向かない
- 毎月決まった金額を積立し続けられるという保証が無い
- 必ず株益がプラスになる保証もない
- 株式や投資信託は元本保証がなく、投資した元本が割れるリスク
- 確実に増える訳では無い
- 元本割れのリスクがある
- 銘柄選定が甘くなる可能性がある
- 必ずしも資産を増やせるとは限らずリスクも高い
- 投資なので、損失も考慮しなければならない
- 損失が出た際に他の口座と損益通算ができない
- 必ずしも利益になるとは約束されていない
- 元本保証ではない
- 相場の状況によっては、投資額より配当が下回る
- 投資は増えていくばかりではなく下がる事もある
- 失敗した場合資産がなくなってしまう
- 上がりつづける保証は必ずしもない
- 値が崩れたりする可能性を考慮せずに気軽に手を出してしまう
- 株価が順当に上昇しない場合はデメリットになる
- 必ずしも資金が増えるとは限らない
- 長期的な運用が前提
- 運用型なので、増えることもあれば減ることもある
- 長い目でみていかないと株価の下落で、資産が減ることもある
- 金利など必ずしも投資分がプラスになるとは限らない
- 投資に回せる余剰資金が必要である
- 投資であることは変わりないと思うので、予測が聞かない部分がある
- 特定の投資商品にしか適用されないこと
- 運用先を自分で決めれるかどうか問題
- 銘柄選択を誤ればマイナスになることもある
- 元本割れのリスクがあり、投資成果が保証されない

資金の拘束

- 今使える現金が少なくなる
- 元手がないとあまり意味がない
- いざ資金が必要に成った時に、手持ちが少ない事
- 資金が拘束される
- 税金の控除になるのと資産の運用になるがキャッシュが必要
- 経済的な理由で新NISAを利用する為の拠出金が出せないと始める事ができない
- そもそもの収入が少ない場合投資分は回しにくい
- 数十年払い続ける事が出来るかが不安なところ
- 現金がなくなる
- 商売が安定しないと、月々まとまったお金を用意できない

昨今の投資ブームに対する意見

－昨今の新NISAを含む投資ブームに対して、あなたの意見を聞かせてください

▼美容業

- 素人、資産1000万以下の投資で勝てる見込みはないのになぜやるのか不思議である
- 国が責任を転換する為に騒いでいるように見える
- 基本的に余剰金でする投資なのに、世間はそのお金が作りにくい現状がある
- 何に投資していくのかは、将来の計画や予定をしっかりとみてからしないといけない
- 受け取り時の額が減る事もあるのでなかなか出来ない。
- 動かない資金があるのであれば、投資をすることにより、長期的に貯蓄できる
- 個人的には新NISAや投資全般的に、もはや投資というよりも投機に近い感覚
- 20、30年後に政府の方針がどうなるかわからない為限界まで張るのはやめた方が良い
- みんな老後まで景気が上がらず不安に思っているのだろう
- もっと早く情報や知識が欲しかった
- ちょうどいい機会になった
- メディアに踊らされているところもある
- マイナス金利が数年続いているので、資金を他に回して増やそうとするのは当然だと思う
- お金にある程度余裕がある人しか出来ないイメージ
- 闇雲に手を出さないよう慎重にしている
- 貯金の考えから資産運用をしていくような金融リテラシーが増えてよい
- 投資を利用して貯蓄などを増やしていくのはいいこと
- 自分の身は自分で守る上でしっかりスキルを上げることは大事なこと
- お金の知識が身を救う場合もあるので良い世の中になってきている
- 将来のためにやらざるを得ない状態
- これからの日本の世の中的に30年所得が上がらないので投資などで増やすのは賛成
- 勉強する時間がない
- 年金とかが期待できないから自分らで貯めていくしかない
- 半信半疑
- 投資はあくまでも個人の責任になるので細心注意が必要
- NISAで、貯蓄した方がいい

▼飲食業

- 投資ブームは潜在的なリスクもある
- バランスと情報収集が重要
- 投資と聞くと詐欺のイメージが強いので、怖い

▼小売業

- この加熱ブームは実体経済を伴っていない異常事態
- 投資に関心が向くのはいい事だと思うが、過度に過熱するのは良くない
- 長い年数持っていたら増える
- 欧米などの外国と比べてまだまだ投資している方は少ない
- 投資する人としらない人の格差は広がる一方なので、ブームではなく当たり前のことになれば良い
- 未来のために積み立てなどをして準備立てるのはとてもいいことではある
- よく勉強して理解したうえで出口戦略も含めてよく考えて理解した上で実行する
- 投資ブームは資産形成の機会ですが、個々でのリスク管理が不可欠
- 国が将来の保証はしないと皆が認識した結果
- 将来の資金は自分で作り出さないといけない
- 投資に興味を持つ人が増え、良いこと
- 投資する人としらない人とで金融格差が生まれてしまう

▼建設業

- 株式投資にかかる税金を政府が上げなければ投資する人は増えていく
- 投資は成功することがあれば、失敗することもあるのでブームに流されていけない
- 周りの仲間も不労所得を色々と得ているので、自分も何かを始めたい
- 自分で資産運用できて自立的な考え方になるのは良い
- 自分の資産形成に軸を持ってとりくめば、ブーム等とは関係無い
- 昔のマル優を思い出す
- 資金に余裕のある方しかできない
- 老後まで貯めたところで落とし穴が待っていそう
- 新NISAなど、投資をする人が増えてくると、株式投資が活発になる
- 投資などに関して考えたことがあまりないのでもっと学ぶ必要がある
- 銀行貯金しているのであれば、投資に資金を回した方がいい
- 自分の仕事だけで稼ぐのとは別に投資という新たな収入源があるのは良い

▼運送業

- 貯金しても利子がひいくためリスクを負ってでも投資で資金を増やすことは賛成
- 個人の資産形成や将来の経済的安定に対して良い影響をもたらす可能性がある銀行に預けているより
- は絶対いいと思うので余裕がある人は始めた方がいい
- 一過性のものと考えている
- 労働を継続すると同時に、自らリスクを取って資産を構築する必要性が高まっている
- 最近では株価が最高値を更新するなど投資に対して興味をもたれる方が増えている
- 投資について色々な政策で推奨されていくのはいい事
- 投資詐欺も増えつつあるので気をつけたい
- 個人の資産が増えるので良い
- 色々な商品があるので、自分にあったものを選ぶ必要がある
- 投資に関心を持つのは大事
- 将来的な考えをもって投資をするのはいいことではあるが、独身ならば必要ない

▼不動産業

- 年金だけに頼ることは無理
- ある程度リスクをとることが必要
- 現実にも目を向けずに将来ばかり考える風潮に違和感を感じる
- リスクとリターンが合っている商品を、皆が積み立てるなら良いこと
- 収入が上がらず税金を支払って欲しいという現状の中で、投資ブームではぐらかされている

▼WEBサービス業

- メリットばかり言われている時は怪しいと感じてしまう
- 若干、過熱感はある
- まわりに流されず自分でしっかり調べて知識を付けながら投資していく必要がある
- 世界情勢的に今後どのようなことになるかわからないので、安心はできない
- 無理のない範囲で運用方法するのがよい
- もっと投資する人が増えるべき
- 株式投資が広がることはよいこと
- 手元に貯金として残しておくよりは良い
- 新NISAを含む投資ブームは、資産形成の重要性を再認識させる良い機会

▼医療業・福祉業

- 基本的に投資には賛成
- 素人の投資は失敗する確率が高い
- NISA等比較的に安全なものに留めるべき
- いつか損する人が増えるような仕組み
- リスクなくして利益もないし、たとえ低リスクでも十分利益になる
- 一時的に資産運用でブーム的なもの
- 老後の不安があるから国の年金だけではダメだと思って行っている人が多い
- 資産運用は出来るだけ早く始める方が良い
- 投資ブームになることも不安の現れ
- 加熱した投資ブームにより株式に資金がかたより、いずれ崩壊しないかだけ心配

▼専門家(士業・FP・コンサルなど)

- 良いこと
- 預金一本槍から分散投資への移行を国民の自主判断で行うことになります
- 自分で勉強し興味ある人がやるべき
- 非課税制度枠の拡大、月額掛金の拡大など以前と比較して利用しやすくなった

▼個人投資家

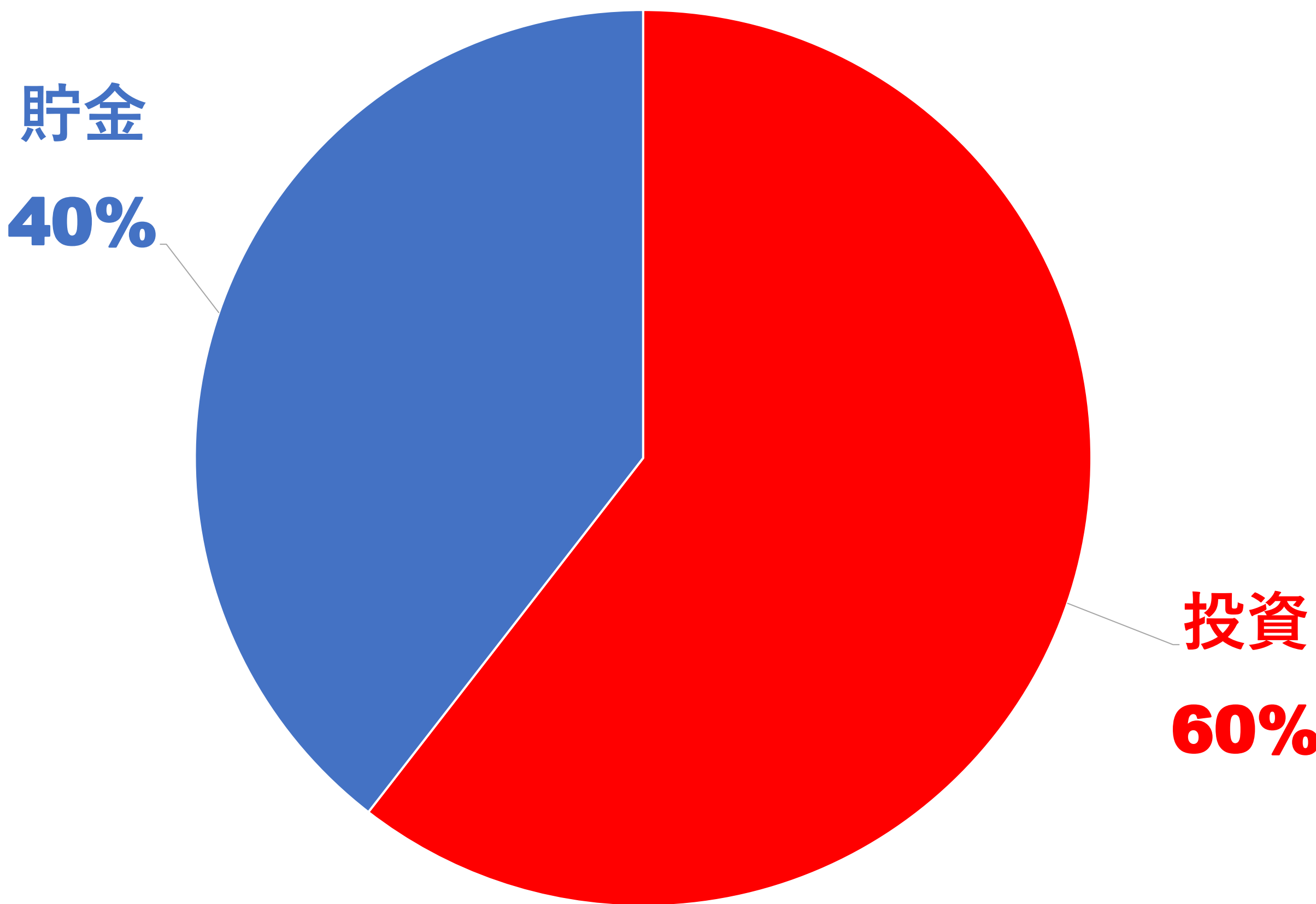
- 投資参加者が増えるのは良い
- 株価の一時的な値上がりによる加熱での参加は危険
- 暴落リスクを把握して適切な金額を投資すべき
- 投資に興味を持つ事は凄く良い事
- これをきっかけに株式や暗号資産なども盛り上がってほしい
- 何もしないよりは良い
- 投資においては自己責任になるためしっかりと考えて行うことを前提にもっと周知すべき
- 株や暗号資産などの投資に新たな投資資金が入るので相場上昇が見込める
- sp500やオールカントリーに偏りすぎてる感じ

▼その他

- 銀行が低金利なのでいよいよ資産形成に目を向けてきたと感じる
- 正しい知識もないまま、皆がやっているという理由で投資し、失敗する人も増えそう
- 万が一損失が出て日常生活に影響が出ない範囲で取り組むのであればよい
- 投資のリスクは理解した上で検討をしないとイケない。
- 長期の運用を前提にしないとイケない
- インスタなどの情報を鵜呑みにしてオルカンやs&p500投資ばかりしている人が多すぎる
- 強い会社はどんどん強くなり弱い会社は強い会社に仕事をとられてしまう
- 個人で資産形成するしかないという方向に向かうのは自然な流れ
- 老後生活に対する不安は現在が最も大きい
- 金融資産の投資があまりにも先行しすぎて自己投資を怠ってしまう心配はある
- 自分なりに節税も含めて利用するかを検討していきたい
- 投資国家とは程遠い日本人の国民性でこの先がどうなるのか心配ではある
- 昨年から株価が上がり、この時期に投資ブームがきても転落の可能性が大きい
- 個人の資産運用する流れを増やしていけば、投資が当たり前になっていくはず
- 老後資金の問題がかなりあると思うので、このようなブームになっている
- 投資をして将来的な計画を建てるのはとても良い
- お金に関してちゃんと向き合えることも良い
- 金融機関に預けても余りメリットが無い為、資産を増やす意味では良い
- 貯金でお金が眠ってるよりは良い

投資と貯金、優先すべきは…？

－個人事業主は、どちらかという投資と貯金どちらを優先すべきだと思いますか？



投資を優先すべき理由

－個人事業主は、どちらかという投資を優先すべき理由を教えてください

将来の不安

への備え

15.0%

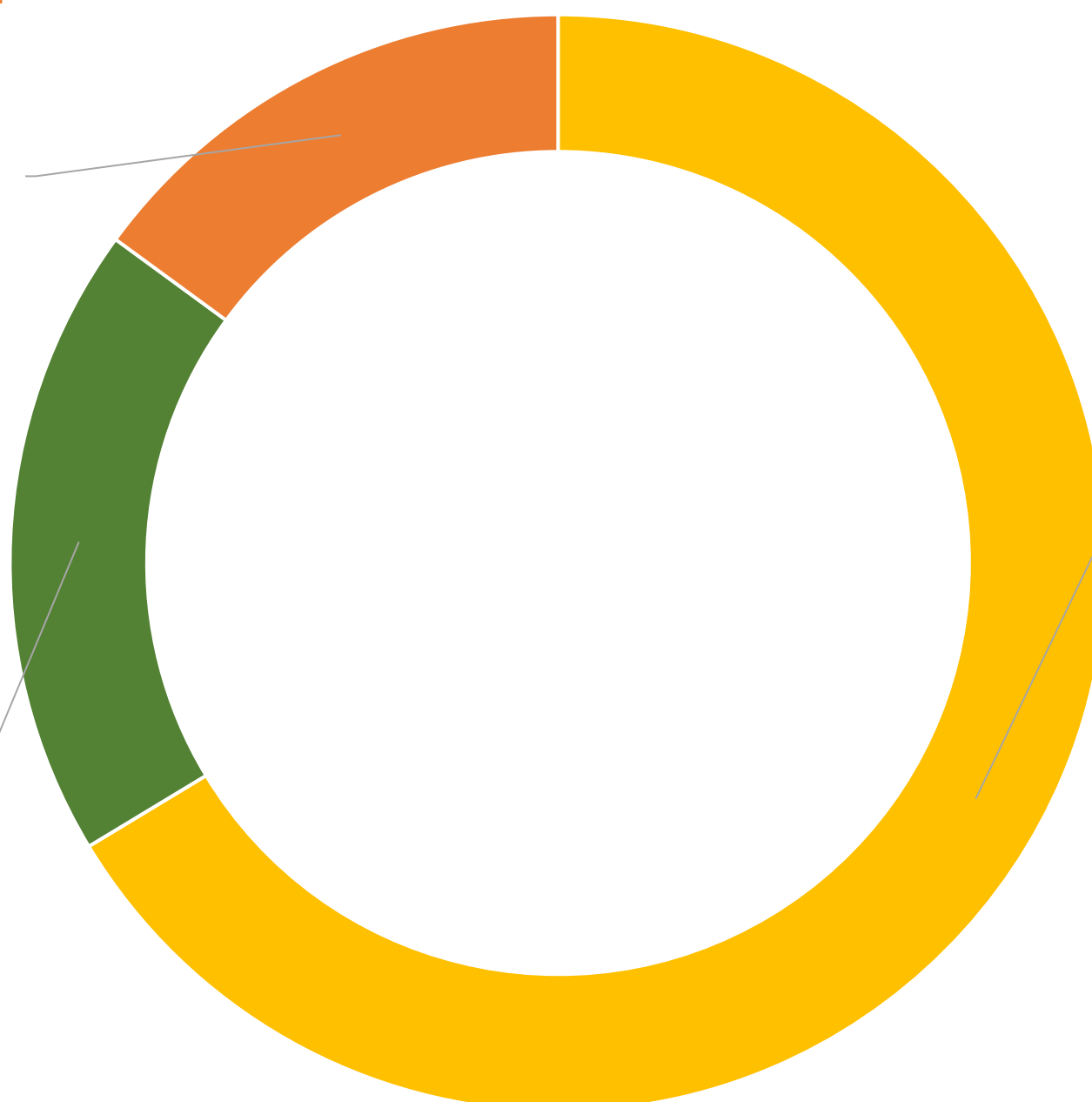
経済環境

への対応

18.7%

資産形成

66.4%



資産形成

- 貯金しても資産はほとんど増えないが投資だと増えるから
- 今の時代単純にただの貯蓄だとあまり増えないから
- 投資のほうがリスクはあるが資金を増やすことができる
- ビジネスの成長につながる投資を優先した方がいい
- 貯金は全くという程、現状は意味をなしていない
- 投資といってもNISAではなく、自己投資や事業投資で稼ぎを増やすほうが優先順位が高い
- 日本の銀行は、金利が低いためただ預けているだけ損なため
- 資産形成と成長につながる可能性が高い
- 貯金していても全く金利はつかないので、ある程度の貯蓄があれば投資すべき
- 長期的に見れば投資の方が資産は増える
- 貯金だけでは増えないどころか目減りしてしまう
- 貯金しても増えないから
- 投資でも設備投資や新しい商売アイデアを出す
- 税金の控除になると資産の運用になる
- 資金を回す事により、お金を増やす必要な時代になった
- 動かない資金をつくるより、動かして資金を作る方が効率的である
- 貯金しても特に増えるわけではないため
- 貯金も必要だが余裕のある分は投資にまわすほうがいい
- うまく使えば貯金よりも増えていく
- 程よいリスクと、リターンをやっておいた方がいい
- 投資で増やしていくのが優先順位が高い
- 貯金はインフレに対応できない
- 少しのリスクで少しのリターンをした方が貯蓄よりいい
- 投資なら期待値以上に増やせる可能性がある
- やっぱり貯金も大事だが少しでも増えるなら投資が優先になる
- 貯金は目減りしていく一方でだが、投資は基本的に増える
- ある程度の貯金ができたら段階で投資にチェンジしていくのは大事になってくる
- 待っていてもお金は増えない
- 貯金していても増えないので、運用した方がいい
- 低利で預けとくより、投資の方が利回りがよい
- 貯金をしていても増えないため少しでも増える方法を考える必要がある
- 現金も大事だけど、資産を運用して利益を出すのが良い
- 貯金は大事だがこれからの時代は投資もしながら増やしていくことも大事
- リスクはあるが貯金よりはお金が増えるイメージが強い
- 手元にキャッシュがある程度たまったらお金に働いてもらおうと楽できる
- 生活資金以外の余剰資金はできる限り運用に回した方が良い
- 貯金だと限界があるため、資産がなかなかふえない
- 貯金に比べて投資でお金を運用したほうが長期的に見て増える
- 貯金だけではなかなか資産を増やすことが出来ない
- 正しい方法で投資をすることができれば貯金よりいい方法
- 自身の投資のために得た知識が仕事で役立つことがある
- 貯金よりも投資をした方がまだ増えていく
- 貯金していても資金が増えるわけではない

経済環境への対応

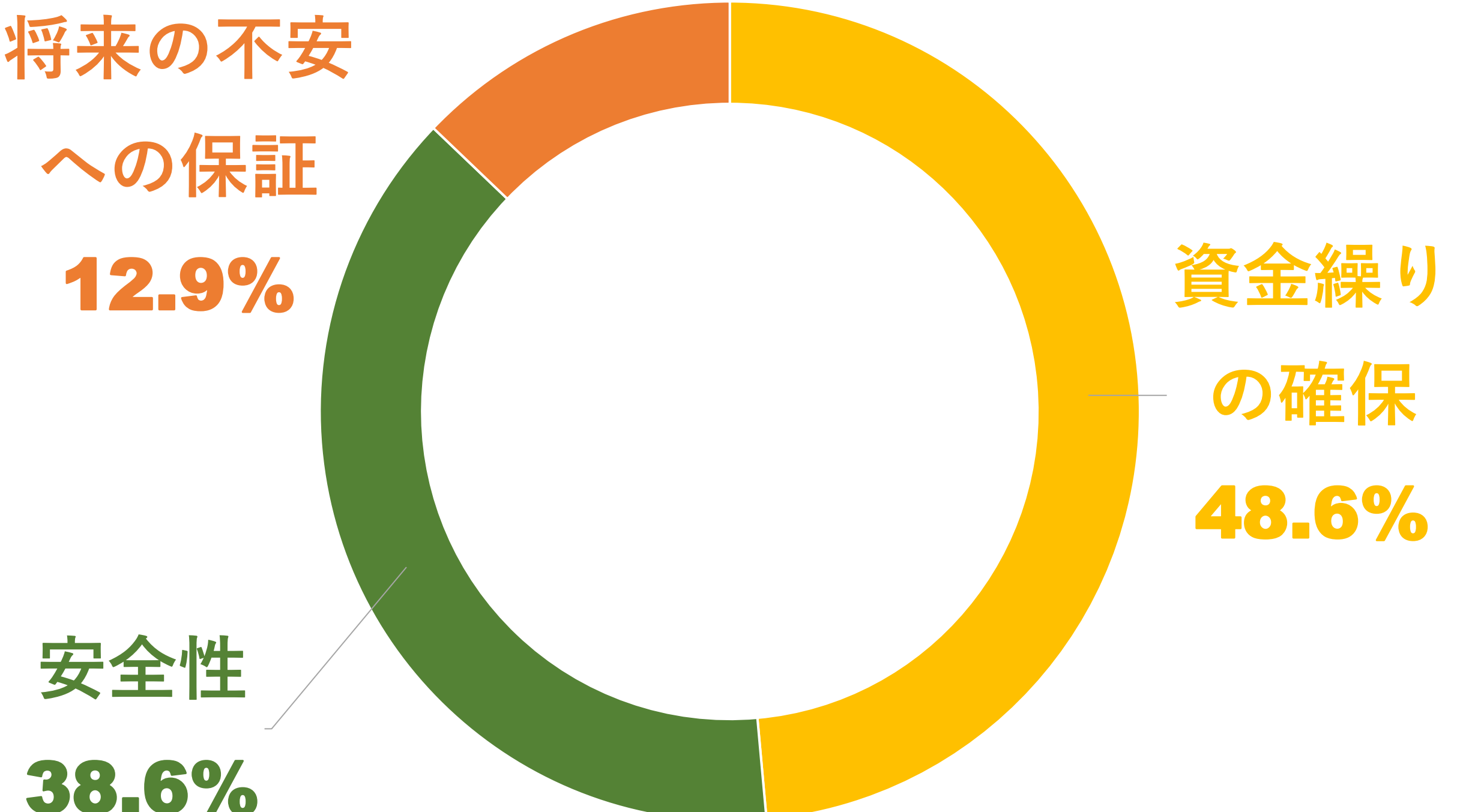
- 円通貨が下がっているため、円通貨を所有する理由がない
- 現時点ではインフレターゲットに則していない
- インフレが進んでいくとみており、貯金は目減りする
- 貯金だけでは増えない上に、円安のリスクもある
- 貯金してもインフレにより目減りする
- 預金だけだとインフレに対応できない
- インフレ率2%を目指す資本主義の国においてお金の価値は下がり続ける
- 現時点では円安・金利安だから
- 貯蓄の金利を考えるとお金に働いてもらう時代である
- 貯金は効率が悪く意味がない
- 昔と違い時間をかけ働いた分の報酬がもらえるわけではない
- 貯金しても利息が低すぎるし現金の価値の変動に合わせて対応できない

将来の不安への備え

- 投資をしないと現代は将来が厳しくなる
- 世の中の流れを勉強するのに必要
- 貯金よりもより増やす事を考えた方がいい
- 投資を優先して資金を増やすのも良い
- ある程度の貯蓄も必要だが、中長期を見たときには貯蓄より投資した方が良い
- 収入が不安定なので収入を安定化させる必要がある
- 将来的に何かあった場合を考えて投資でお金を増やしておく事が良い
- 個人事業主はリスクを取り、経営の安定を考えないといけないから
- 個人事業主は投資を優先すべき
- 毎月のインカムゲインがあれば仕事の量が少なくても生活が安定する

貯金を優先すべき理由

－個人事業主は、どちらかというと貯金を優先すべき理由を教えてください



▼資金繰りの確保

- ある程度の貯金をしたうえで投資にまわすべき
- 株式会社に比べて融資を受けにくい面があるから
- 貯金があってからの投資をしないと資金が回らない
- 貯金がないならばまずは貯金を確保してから。
- まずは一定金額を貯めたうえで、余剰金が出てから投資に移るのがよい
- 貯金がメインで、投資も余裕がある部分で行うのが良い
- 非課税とは言え、元本割れもある為、いざと言う時に引き出せない
- 流動資産として、資金繰りにすぐ使える
- 投資はあくまでも余剰金がある場合に検討すること
- 資金ぐりのためにやはり貯金じゃないとだめな所はある
- 余裕があれば投資に回せたら良いが、コロナみたいに仕事が激減した場合、資本金がいる
- ある程度貯金があって投資する分にはたとえ失敗しても取り返しがつく
- ある程度の貯蓄を確保したうえで投資にまわすのが懸命
- ある程度は自由に出来るお金を置いておくためにまずは貯金、その次に投資
- 生活資金を確保してから、投資に振っていく
- 投資はいざという時の支払い時にすぐ現金化は難しい
- 貯金は運転資金として必要
- まずは貯金して余剰資金として投資をしていく
- すぐ使える現金を置いとかなないと仕事が無い時ぐ大変になりそう
- インボイス導入により、今後引かれる税金が多くなるため、ある程度の貯蓄も必要になってくる
- 今すぐ支払う必要が出てくる可能性を考えたら貯蓄が優先
- 先行きの見えない場合もあるので、現金確保は重要
- 投資は生活や事業の基盤を賄ってさらに余裕があるお金で行うべきもの
- 投資の前に軍資金が必要
- すぐ必要になるお金が使える

▼安全性

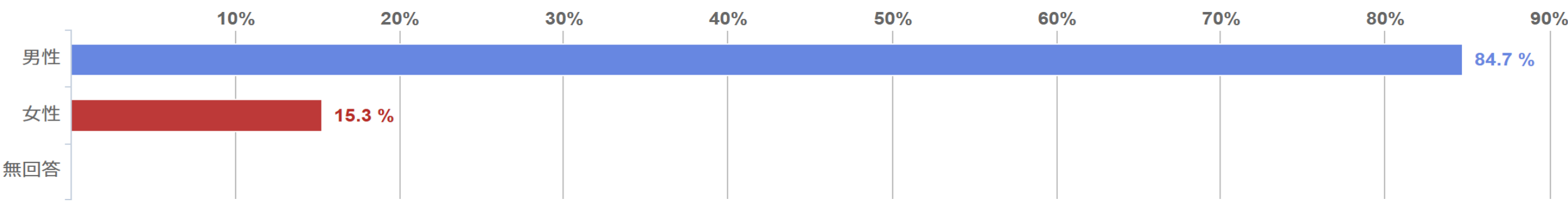
- 現金より強いものはない
- 投資で勝てるのは才能だから
- チャートは予想はできても正確なものでは無いので貯蓄で堅くいくほうがいい
- 手堅く貯金
- 地道にコツコツ貯金の方がリスクは少ない
- 資産運用してもメリットがあるとは思えない
- 生活の安定を優先するならば、貯金の方が安全
- 投資にはリスクもあるので手堅く貯蓄に回す方が確実
- 目に見えるお金だから安心できる
- 上がり下がりがあるものは怖いので少ない利子でも減らない方が良い
- 投資はリスクが大きすぎる
- 投資を否定するものでは無いが優先すべきは確実性のある貯金である
- 貯金の方が安定しているイメージがある

▼将来の不安への保証

- コロナや戦争など、世界的な不安要素はいつ起こるか分からないので、投資に過信はできない
- 投資も貯金も大事けどしんどい時は貯金で乗り切れる
- 普段から貯金をしておくことが重要
- いつ仕事が切れるか分からないから、貯金の方が安心
- ある程度の貯金があった方が何かあった時に安心がある

本調査の回答者属性

▼性別



▼年齢

